

和歌山県埋蔵文化財調査年報

—平成14年度—

2004.3

和歌山県教育委員会

例言

- 1 本書は、平成14年度に文化庁の補助事業として和歌山県教育委員会が実施した試掘・確認調査、本発掘調査、立会調査等の成果報告であるが、平成6年度に実施した岩橋千塚古墳群の調査の一部についても掲載した。
- 2 埋蔵文化財包蔵地の範囲変更については、平成15年9月30日までに変更があったものについて掲載した。
- 3 本書で使用した地図は、特に断りのない限り、遺跡位置図の縮尺が2万5千分の1、調査位置図の縮尺が2千5百分の1で、上方が北である。
- 4 座標値は、日本測地系 第VI座標系（旧測地系）に従う。
- 5 本文中で使用した土色は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修『新版標準土色帳』による。
- 6 本書の編集は、和歌山県教育庁生涯学習局文化遺産課調査班が行い、執筆は各担当者が行った。
- 7 本書で掲載した遺構実測図等の資料、割愛した土層図等の資料及び遺物は、文化遺産課で保管しており、閲覧可能である。

目次

	ページ
平成14年度 和歌山県内発掘調査関係統計資料	1
埋蔵文化財包蔵地の範囲変更	2
平成14年度県教育委員会の調査	3
一覧表	3
3 元遺跡	5
4 最上遺跡	5
5 上尾遺跡	5
6 粉河寺遺跡	6
7 八岡山城跡	7
8 萩原Ⅱ遺跡	7
9 笠田東遺跡	7
10 渋田遺跡	8
11 窪・萩原遺跡	8
13 平山城抜け穴	9
14 応其Ⅰ遺跡	9
15 慈尊院Ⅱ遺跡	10
16 金剛峯寺遺跡	10
17 柏原遺跡	11
18 石ヶ谷遺跡	14
19 中井原遺跡	15
20 岡の前遺跡	16
22 葛籠遺跡	15
23 小熊遺跡	16
24 手取城跡	17
25 井上Ⅰ遺跡	17
26 吉原御坊跡	18
27 吉原遺跡	18
28 谷口遺跡	19
29 高田土居城跡	19
30 徳藏地区遺跡	20
31 徳藏周辺遺跡	21
33 東吉田Ⅰ・Ⅱ遺跡	23
34 熊岡Ⅱ遺跡	24
35 大塚遺跡	26
36 江津良遺跡	26
37 川関遺跡	26
岩橋千塚古墳群の調査	27
1. 保存処理鉄器の再実測及び平成6年度調査の出土遺物	27
2. 平成6年度 岩橋千塚古墳群（大谷山地区）の調査	27

平成14年度 和歌山県内関係調査統計資料

算出事件数

工事の種別	文化財保護法 57条の2	指定内容	道路	河川	学校	住宅	個人住宅	工場	店舗	業務住宅	その他 建築物	宅地造成	公園造成	ガス等	農業関係	その他類 別		通称地名 等	学術	通称地名 その他	計		
																1	2						
工事の種別	57条の2	美術館					5	2	4		5							1			1	19	
		工事立会					11	115	1	3	3	13			21	4	2					1	182
		慎重工事					4	14	2		7	6			5	1						1	40
		その他類					2	1	1	2		2											10
		計	0	0	0	22	132	2	9	3	27	17	0	26	6	4	0	0	1	2		2	251
工事の種別	57条の3	角削り				3					1											1	4
		工事立会				2	1					1	1	12		1					1		23
		慎重工事				2	1	1						6	1							1	12
		その他類																					0
		計	7	0	2	1	0	0	0	0	0	6	1	1	18	1	1						38
合計		7	0	2	23	132	2	9	3	33	18	1	44	7	5	0	0	1	2		289		
関係種別	57条	試掘・確認調査				9	1															4	18
		本発見調査				9	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	16
		試掘・確認調査				6	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
		本発見調査				2																	2
		計	8	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
合計		17	2	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		27	

県指定史跡名勝天然記念物の現状変更（埋蔵品等）

種別	名称	概要	許可/不許可の別	許可条件	文化財保護法施行令第5条第2項本文「許可日	
					許可日	
1史跡	高野山町石	階段手すり改修	許可	慎重工事	ハ 114.4.2	
2史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	高野町職員立会	ハ 114.4.22	
3史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	高野町職員立会	ハ 114.7.27	
4史跡	金剛峯寺境内	墓石交換	許可	慎重工事	ハ 114.5.30	
5史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	高野町職員立会	ハ 114.7.1	
6史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	高野町職員立会	ハ 114.7.1	
7史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	高野町職員立会	ハ 114.7.18	
8史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	高野町職員立会	ハ 114.7.16	
9史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	高野町職員立会	ハ 114.7.18	
10史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	慎重工事	ハ 114.8.1	
11史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	慎重工事	ハ 114.8.15	
12史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	高野町職員立会	ハ 114.8.29	
13史跡	金剛峯寺境内	土まき道木管等設置	許可	高野町職員立会	ハ 114.7.18	
14史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	高野町職員立会	ハ 114.8.18	
15史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	高野町職員立会	ハ 114.7.18	
16史跡	紀伊郡分所跡	復元築地基礎調査	許可	行田町職員立会	ハ 114.10.1	
17史跡	金剛峯寺境内	墓地整備	許可	高野町職員立会	ハ 114.10.3	
18史跡	金剛峯寺境内	墓石改修	許可	高野町職員立会	ハ 114.10.3	
19史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	高野町職員立会	ハ 114.10.17	
20史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	慎重工事	ハ 114.10.17	
21史跡	金剛峯寺境内	石垣設置	許可	高野町職員立会	ハ 114.10.22	
22史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	高野町職員立会	ハ 114.11.3	
23史跡	金剛峯寺境内	石灯籠・石地盤設置	許可	高野町職員立会	ハ 114.11.5	
24史跡	高野山町石	記念碑建立	許可	慎重工事	ハ 114.11.28	
25史跡	高野山町石	墓所雨水設備	許可	慎重工事	ホ 114.12.2	
26史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	高野町職員立会	ハ 115.3.31	
27史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	慎重工事	ハ 115.3.31	
28史跡	金剛峯寺境内	瓦葺屋根工事	許可	慎重工事	ハ 115.3.27	
29史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	高野町職員立会	ハ 115.7.31	
30天然記念物	押付川支流	湧き水の生態調査等	許可	周辺環境への配慮	ホ 114.5.17	
和歌山県	1史跡	和歌山城	仁徳天皇・藤原公	許可	慎重工事	ハ 114.7.19
	2史跡	和歌山城	バスターレ記念塔設置	許可	慎重工事	ハ 114.7.19
	3史跡	和歌山城	宝経堂ペンギン飼育舎設置	許可	慎重工事	ハ 114.8.4
	4史跡	和歌山城	公衆衛生基地施設	許可	慎重工事	ハ 115.2.6
	5史跡	和歌山城	公衆衛生基地施設	許可	工事期間限定	ホ 115.7.10
	6特別史跡	宮城千姫古墳群	フェリス公園工事	許可	慎重工事	ニ 115.3.3
	7史跡	和歌山城	心1-8-8,地中電線沿道区画整理	許可	工事期間限定	ホ 115.3.13

県指定史跡名勝天然記念物の現状変更（文化庁連携分）

種別	名称	概要	許可日	許可条件
1史跡	金剛峯寺境内	作業用道路拡張工事	H14.6.21	観光委員会による要綱調査など
2史跡	紀伊郡分所跡	保存塔工事	H14.6.21	行田町教育委員会立会など
3史跡	和歌山城跡	御膳所下屋工	H14.6.21	和歌山市教育委員会立会など
4史跡	和歌山城跡	手摺石設置	H14.10.18	和歌山市教育委員会立会など
5史跡	和歌山城跡	塙田工事	H15.2.21	和歌山市教育委員会立会など
6史跡	金剛峯寺境内	身体障害者用通称施設	H15.7.11	観光委員会による要綱調査など
7史跡	金剛峯寺境内	身体障害者用通称施設	H15.7.11	観光委員会による要綱調査など

県指定史跡名勝天然記念物の現状変更

種別	名称	概要	許可日	許可条件
1天然記念物	黄の滝の天然瀑	結核一応心保護	H14.8.9	慎重工事
2天然記念物	正覚寺のムラサキ	緑の保護	H14.8.9	慎重工事
3史跡	子良王子跡	養蚕の跡	H15.2.17	慎重工事
4史跡	子良王子跡	養蚕の跡	H15.3.17	慎重工事

埋蔵文化財発見地新制度・埋蔵品等

種別	名称	概要	許可日	許可条件
手摺石跡	和歌山大学宇和佐	H15.5.30	埋蔵品調査	埋蔵品調査結果
小宮奥宮遺跡	和歌山小宮奥	H15.3.26	埋蔵品調査	埋蔵品調査結果
遺跡	徳島大学之大池	H15.3.31	埋蔵品調査	埋蔵品調査結果
中野遺跡	和歌山大学中野	H15.7.31	埋蔵品調査	埋蔵品調査結果
御膳所遺跡	和歌山御膳所	H15.6.30	埋蔵品調査	埋蔵品調査結果
神田遺跡	白旗町大字屋敷	H15.1.19	埋蔵品調査	埋蔵品調査結果

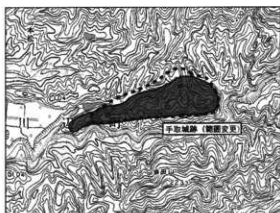
出土文化財調査件数

種別	調査件数
和歌山県	70
計	70

埋蔵文化財包蔵地の範囲変更

平成13年度版年報作成後、平成15年9月30日までに範囲変更、新規登録を行った埋蔵文化財包蔵地について以下に掲載する。

破線は旧範囲を、実線は新範囲を示す。所在地などは1頁の表参照。



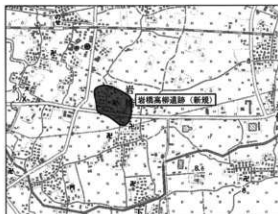
手取城跡



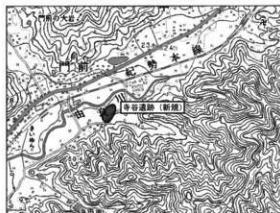
小豆島西遺跡



遍照寺遺跡



岩橋高柳遺跡



寺谷遺跡



仲田遺跡

平成14年度県教育委員会の調査

調査一覧

NO.	遺跡名	調査件名	市町村名	座標値(旧座標系)	調査年月日	調査原因	調査種類	調査面積	遺構/遺物	年代
1	磯の浦古墳群	01-327	和歌山市磯の浦	X=-192,689 Y=-82,673	2002.6.19	県道建設	分布調査	—	なし	—
2	且来下垣内古墳	02-98	海南市且来	X=-203,277 Y=-70,600	2002.6.24	道路拡幅	分布調査	—	なし	—
3	元遺跡①	02-82	桃山町元字東嶋	X=-195,370 Y=-59,084	2002.7.19	分譲住宅	工事立会	30㎡	なし/瓦器、土師器、弥生土器?	中世、弥生?
	元遺跡②	02-214	桃山町元字東嶋	X=-195,370 Y=-59,084	2003.3.11	個人住宅(浄化槽)	工事立会	2㎡	なし/なし	—
4	最上遺跡	02-92	桃山町最上	X=-196,793 Y=-59,996	2002.10.8	個人住宅(浄化槽)	工事立会	2.5㎡	なし/須恵器(盛土中)	—
5	上尾遺跡	02-225	桃山町調月 字山ノ上	X=-196,686 Y=-60,556	2003.3.14	個人住宅	工事立会	3㎡	なし/なし	—
6	名勝粉河寺庭園 粉河寺遺跡	現状変更 00-243	粉河町粉河	X=-190,940 Y=-54,435		防災施設	発掘調査/工事 立会	173㎡	礎石建物、暗渠/ 瓦、土師器	中世・近世
7	八岡山城跡	02-265	貴志川町岸宮 字八岡	X=-197,468 Y=-64,773	2003.3.18	個人住宅	工事立会	2㎡	土坑/なし	不明
8	萩原Ⅱ遺跡	02-24	かつらぎ町萩原 字井ノ尻	X=-190,006 Y=-48,779	2002.4.30	個人住宅	工事立会	7㎡	なし/なし	—
9	笠田東遺跡	02-85	かつらぎ町笠田 東	X=-189,559 Y=-47,848	2002.8.7, 10.16	倉庫	工事立会	1.2㎡	なし/なし	—
10	洗田遺跡①	01-318	かつらぎ町洗田	X=-191,455 Y=-48,772	2002.5.14	個人住宅(浄化槽)	工事立会	3.8㎡	流路、おちこみ、杭/ 須恵器、土師器、陶 器(すべて小片)	奈良?中世 ~近世
	洗田遺跡②	02-2	かつらぎ町東洗 田	X=-191,189 Y=-47,940	2002.5.28	個人住宅(浄化槽)	工事立会	2㎡	なし/なし	—
11	窪・萩原遺跡	02-241	かつらぎ町萩原 字前島	X=-190,404 Y=-49,122	2003.3.24	浄化センター	工事立会	断面観察	河川/なし	不明
12	かつらぎ・高野口 町内遺跡	98-145	かつらぎ町・ 高野口町	—	2003.3.28,31	京奈和自動車道 建設	分布調査	—	サヌカイト、土師器、 縄文土器、弥生土 器、須恵器	縄文~近世
13	平山城抜け穴	98-145	高野口町応其	X=-187,055 Y=-39,056	2002.4.20~ 22	京奈和自動車道 建設	発掘調査	約9㎡	水路、溝/なし	近世
14	応其Ⅰ遺跡	02-255	高野口町応其	X=-187,594 Y=-39,299	2003.3.5	集合住宅(浄化 槽、2ヶ所)	工事立会	9㎡(5㎡ +4㎡)	土坑(ピット)4/なし	不明
15	慈尊院Ⅱ遺跡	01-271	九度山町慈尊院	X=-189,060 Y=-41,345	2002.4.16	個人住宅	工事立会	22.4㎡	ピット・埋桶?/なし	不明
16	金剛峯寺遺跡	02-198	高野町高野山 字南谷	X=-198,472 Y=-38,156	2002.12.6	歩道工事	工事立会	0.5㎡	なし/なし	—
17	柏原遺跡	98-145	橋本市柏原地内	X=-186,651 Y=-37,937	2003.2.24~ 3.13	京奈和自動車道 建設	確認調査	133.6㎡	中世ピット、弥生溝・ ピット/土師器、瓦 器、弥生土器、サカ ト	近世、中世、 古墳~飛 鳥、弥生 中世
18	石ヶ谷遺跡	02-60	吉備町西丹生園	X=-215,163 Y=-71,158	2002.7.23,24	県道工事	試掘・確認調査	60㎡	土坑4/瓦器片少量	中世

調査一覧

NO.	遺跡名	調査件名	市町村名	座標値(旧座標系)	調査年月日	調査原因	調査種類	調査面積	遺構/遺物	年代
19	中井原遺跡	02-54	金屋町中野字前田	X=-214,394 Y=-68,400	2002.6.12	個人住宅(浄化槽)	工事立会	4.5㎡	土堀/瓦、すり鉢	近世or近代
20	岡の前遺跡	99-161	金屋町長谷川	X=-216,019 Y=-66,789	2002.4.11	県道工事	試掘・確認調査	12㎡	なし/なし	—
21	軟喜寺跡	01-323	金屋町親喜寺	X=-216,374 Y=-67,809	2002.8.16	収蔵庫新築	工事立会	150㎡	なし/なし	—
22	葛籠遺跡	02-172	清水町久野原	X=-211,978 Y=-50,635	2002.10.25	個人住宅	工事立会	14㎡	土坑/なし	不明
23	小熊遺跡	02-38	川辺町小熊字大坂	X=-231,805 Y=-74,962	2002.7.22	個人住宅(浄化槽)	工事立会	6.4㎡	なし/なし	—
24	手取城跡	—	川辺町和佐地内	X=-232,730 Y=-71,100	2003.3.26	—	現地確認	—	—	—
25	井上I遺跡	02-168	印南町西ノ地小摩	X=-243,386 Y=-69,540	2003.1.9	個人住宅(浄化槽)	工事立会	3㎡	ビット2/縄文土器他小片(鹿茸犬)	不明
26	吉原御坊跡	02-114	美浜町吉原	X=-234,015 Y=-78,943	2002.8.28	個人住宅(浄化槽)	工事立会	2㎡	なし/土師器片1	—
27	吉原遺跡	58条の2	美浜町吉原字大松原	X=-234,271 Y=-79,024	2003.3.10	集合住宅	試掘・確認調査	2.5㎡	土坑/なし	不明
28	谷口遺跡	02-260	南部川村谷口上六斗田	X=-245,067 Y=-61,723	2003.2.27	個人住宅	工事立会	42㎡	なし/弥生土器1袋	弥生時代
29	高田土居城跡	00-99	南部町気佐藤	X=-246,577 Y=-62,266	2002.11.7	県道拡幅	工事立会	60㎡	堀跡/須恵器2、土師器1、弥生土器1、粘土塊4、サヌカイト1、縄文土器片1、土鉢1	—
30	徳蔵地区遺跡	00-101	南部川村徳蔵	X=-246,350 Y=-62,320	2002.4.18~19	国道改良	試掘・確認調査	48㎡	河川(9.10トレ)/土器片少量(11トレ)	不明
31	徳蔵地区周辺遺跡	01-323	南部町東吉田	X=-246,825 Y=-62,297	2002.11.6,7	河川改修	試掘・確認調査	22.6㎡	なし/弥生土器	弥生~古墳時代
32	東吉田I・II周辺遺跡	97-327	南部町東吉田	X=-246,844 Y=-61,403	2003.3.20	近畿自動車道建設	分布調査	—	—/石器?1、陶器片1	—
33	東吉田I遺跡	97-327	南部町東吉田	X=-246,752 Y=-61,788	2002.12.2~13	近畿自動車道建設	試掘・確認調査	90㎡	なし/土師器、須恵器	—
34	熊岡II遺跡①	02-20	南部川村熊岡	X=-246,450 Y=-61,143	2002.5.9	村道改良(拡幅)工事	確認調査	23.5㎡	ビット2、溝?(河川)/土師器、陶器、白磁、山茶碗、瓦器、12袋	中世(古代、古墳)
	熊岡II遺跡②	00-338	南部川村熊岡	X=-246,422 Y=-61,157	2002.7.1~2	圃場整備(水路設置)	工事立会	47㎡	おちこみ/山茶碗、土師器/7小袋	中世、古墳時代前期
35	大塚遺跡	01-197	南部町東吉田字大塚	X=-247,016 Y=-62,231	2002.4.19	個人住宅(浄化槽)	工事立会	2㎡	流路/土師器・須恵器:1袋	弥生~古墳時代?古代?
36	江津良遺跡	02-207	白浜町龍頭	X=-256,106 Y=-59,916	2003.2.7	個人住宅(浄化槽)	工事立会	2㎡	なし/なし	—
37	川関遺跡	02-202	那智勝浦町天満	X=-261,826 Y=-61,159	2003.1.8	個人住宅(浄化槽)	工事立会	3㎡	なし/少量	不明

3. 元遺跡

(調査件名 ①02-82、②02-214)

種別 立会調査

所在地 桃山町大字元宇東嶋

<調査の経緯> 分譲住宅建設に伴う立会調査。今回の調査地点は元遺跡の北東端にあたる。擁壁部について計5ヶ所、後日浄化槽部についても調査を実施した。

<調査成果> 東半部は、旧水田及び湿地を形成していたと思われるシルト層が堆積しており、遺構・遺物ともなし。西端部(5トレンチ)では、旧水田面の下に中世の遺物(瓦器、土師器細片)包含層が堆積していたが遺構は検出できなかった。



5トレンチ土層断面図 (S=1/50)



遺跡位置図



調査位置図

4. 最上遺跡

(調査件名 02-92)

種別 立会調査

所在地 桃山町最上

5. 上尾遺跡

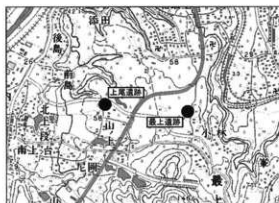
(調査件名 02-225)

種別 立会調査

所在地 桃山町調月字山の上

<調査の経緯> 個人住宅浄化槽部分の掘削に伴う立会調査。

<調査成果> 両調査地点とも、旧耕作土下が地山であり、遺構、遺物とも検出できなかった。



遺跡位置図



最上遺跡調査位置図



上尾遺跡調査位置図

6. 名勝粉河寺庭園／粉河寺遺蹟

(調査件名 現状変更/00-243)

種別 本発掘調査／立会調査

所在地 粉河町粉河

<調査の経緯> 今年度は、平成13年度に引き続き、防災施設工事に伴う発掘調査と立会調査をおこなった。発掘調査は、国指定名勝庭園部分で実施し、他の境内地内は27ヶ所のグリッドを設けて立会調査を実施した。

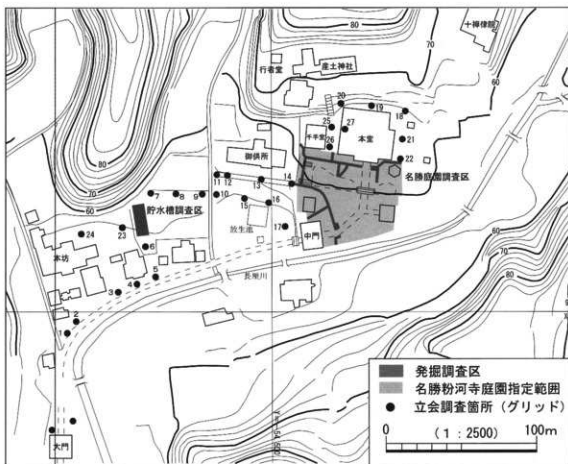
<調査成果> 名勝庭園部分の調査では、本堂前(3-1～8トレンチ)で正徳3年(1713)の火災層と見られる焼土層とこの焼土層を切る複数の暗渠溝を検出した。また、焼土層の下層で礎石と石列の一部を検出した。千手堂と絵馬堂間の階段(2-1トレンチ)で焼土層より下層で門の可能性のある礎石列を確認した。名勝庭園と中門間(1-1～6トレンチ)で旧中門の可能性のある基壇を確認した。3-3トレンチと1-4トレンチでは古代の遺物を含む包含層を確認した。

立会調査では、ほとんどの箇所です工事掘削範囲は近世の盛土内で、本堂裏の一部で地山を検出した。

詳しくは「粉河寺防災工事に係る発掘調査」平成14年9月『重要文化財 粉河寺大門 修理工事報告書』粉河寺(財団法人和歌山県文化財センター編)に掲載している。



遺跡位置図



調査位置図

7. 八岡山城跡

(調査件名 02-265)

種別 立会調査

所在地 貴志川町岸宮宇八岡



遺跡位置図



調査位置図

8. 萩原Ⅱ遺跡

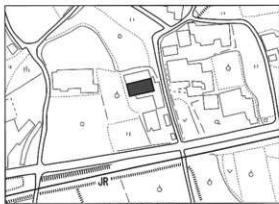
(調査件名 02-24)

種別 立会調査

所在地 かつらぎ町萩原字井ノ尻



遺跡位置図



調査位置図

9. 笠田東遺跡

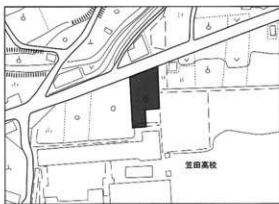
(調査件名 02-85)

種別 立会調査

所在地 かつらぎ町笠田東字松ノ前



遺跡位置図



調査位置図

10. 渋田遺跡

(調査件名 ①02-2、②01-318)

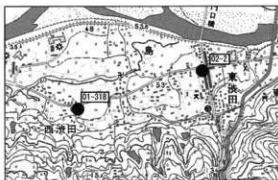
種別 立会調査

所在地 かつらぎ町①東渋田

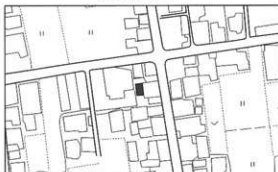
②西渋田字ヲコダ

<調査の経緯> 個人住宅浄化槽部分の掘削に伴う立会調査。

<調査の成果> 02-2立会調査では、遺構・遺物とも検出できなかった。01-318立会調査地点は、地表下1.8mまで砂層(湧水層)、その上にシルト層が堆積する。この砂層には、杭が打ち込まれていた。杭は、長さ45cm太さ6cm程度のものを中心として計6本が60×160cmの範囲にランダムに分布していた。杭の先端付近の黄灰色砂質層から土師器小片が計20点ほど出土した。時期は細片のため不明である。



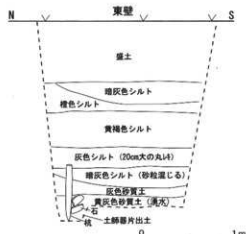
遺跡位置図



調査位置図 (02-2)



調査位置図 (01-318)



土層断面図 (01-318)

11. 窪・萩原遺跡

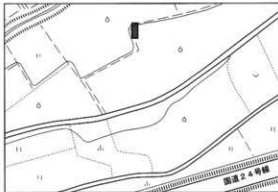
(調査件名 02-241)

種別 立会調査

所在地 かつらぎ町萩原地内



遺跡位置図



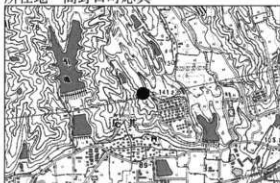
調査位置図

13. 平山城抜け穴

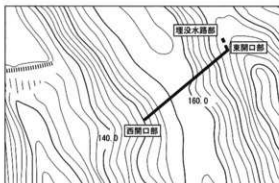
(調査件名 98-145)

種別 本発掘調査

所在地 高野口町応其



遺跡位置図



調査位置図

<調査の経緯> 京奈和自動車道建設に伴い「平山城の抜け穴」と称されている隧道の発掘調査を実施。

<調査成果> 発掘調査、類例調査から中世山城の「抜け穴」ではなく、水路遺構と結論付けることができた。詳細は武内雅人「発掘調査－「平山城の抜け穴」の発掘調査－」『高野橋をつくらせた荘園』（平成15年3月和歌山県教育委員会）に掲載。

14. 応其Ⅰ遺跡

(調査件名 02-255)

種別 立会調査

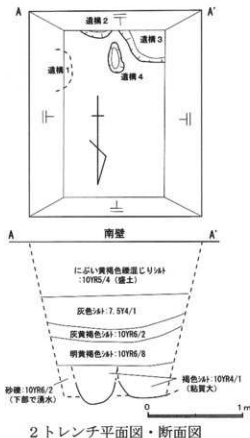
所在地 高野口町応其



遺跡位置図



調査位置図



2トレンチ平面図・断面図

<調査の経緯> 個人住宅浄化槽部分の掘削に伴う立会調査。

<調査の成果> 1トレンチは、遺構・遺物ともなし。2トレンチは、地表下1.3mまで砂礫層が堆積し、この上面で遺構を4基確認した。遺物の出土はなく時期は不明。

15. 慈尊院Ⅱ遺跡

(調査件名 01-271)

種別 立会調査

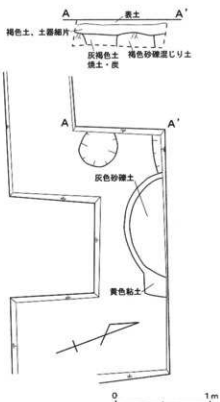
所在地 九度山町慈尊院93番地



遺跡位置図



調査位置図



遺構平面図・断面図

<調査の経緯> 個人住宅基礎部分の掘削工事に伴う立会調査。

<調査の成果> 建物の南辺中央付近において遺構を検出した。遺構面は地表下20cm 足らずで、ピット2基と埋桶1基を検出した。遺物の出土はなく時期は不明。

16. 金剛峯寺遺跡

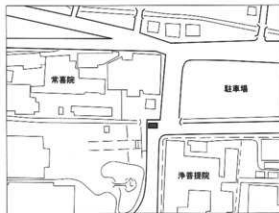
(調査件名 02-198)

種別 立会調査

所在地 高野町字南谷



遺跡位置図



調査位置図

17. 柏原遺跡

(調査件名 98-145)

種別 試掘・確認調査

所在地 橋本市柏原

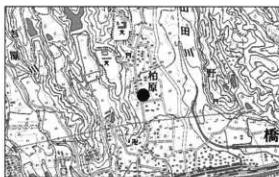
<地理的環境・調査の経緯>

柏原遺跡は、紀ノ川支流の山田川西岸に位置し、南に緩やかに下がる傾斜地に立地している。現在は一帯が宅地と水田地帯になっている。調査地南東側には鎌倉時代の文書が残る西光寺があり、西側丘陵上には仏性寺古墳群がある。

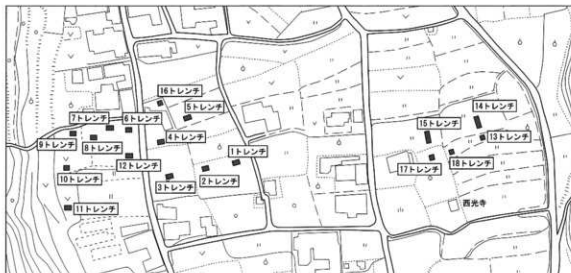
今回の調査は京奈和自動車道建設予定

地における事前の確認調査である。一昨年度、昨年度にも調査をおこなっており、今回は第3次調査となる。

<調査成果> **調査区の設定** 一昨年、昨年度に調査していない範囲に計18箇所 of 調査区を設定した。基本的に耕作土及び床土は重機で掘削し、遺物包含層は人力で掘削した。遺構面が確認できる調査区では遺構面まで、遺構面が確認できない調査区では地山面まで掘削している。 **各トレンチの概要** 1トレンチ 1・2層は現代の攪乱・盛土層である。3層は褐色シルト層で、瓦質土器片が出土している。4～6層は黄褐色砂層～暗褐色砂礫層で、地山あるいは河川堆積と考えられる。2トレンチ 1-1・1-2・1-3層は現代の盛土・耕作土・床土である。3-1～3-3層は黄褐色砂礫層で、河川堆積と考えられる。4-1・4-2層は黄褐色シルト層で地山である。遺物は出土していない。3トレンチ 1・2層は現代の耕作土・床土である。3層は褐色細砂～シルト層で、4層はにがひ黄褐色砂礫層である。5層は褐色粗砂～シルト層で地山と考えられる。遺物は出土していない。4トレンチ 1・2層は耕作土・床土である。3層は褐色の細礫層で、3トレンチの3層に対応する。4層は黄褐色砂層、5層は褐色礫層、6層はやや粘質の暗褐色細砂層である。7-1・7-2層は褐色の細砂～細礫層で地山または河川堆積と考えられる。遺物は出土していない。5トレンチ 1・2層は現代の耕作土・床土である。3層は旧水田層で、瓦器や須恵器などが出土した。4層は暗褐色の礫層～シルト層で、3・4トレンチの3層に対応する。5-1・5-2層は黄褐色シルト～細礫層で、地山と考えられる。5-1層上面(地山面)は西側がやや高く、中央部が若干くぼんでいる。3層以外では遺物は出土していない。6トレンチ 掘削部分はすべて現代の攪乱であった。この敷地には部分的にゴミ等を投棄した箇所が

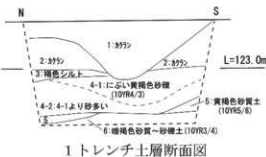


遺跡位置図

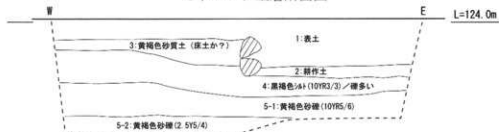


調査位置図

あるようである。7トレンチ 1層・2層は現代の盛土と考えられる。3層に黒褐色層があるが遺物は出土しなかった。4層は砂礫層で河川堆積と考えられる。この調査区では遺物は出土していない。8トレンチ 1-1層・1-2層は現代の盛土、1-3層・2層は現代の耕作土・床土である。3層は7トレンチ3層に類似した暗褐色層がある。4層は丘陵から流れ込んだ黄褐色層で、5層は河川堆積と考えられる砂礫層である。遺物は1-3層及び2層から若干出土している。9トレンチ 1層は現代の盛土、2-1～3層は近現代の攪乱層である。3～5層は、砂層～礫層で地山または河川堆積と考えられる。遺物は出土していない。10トレンチ 1層は現代の盛土で、2～7層は砂層～礫層で地山または河川堆積と考えられる。遺物は出土していない。11トレンチ 中央部で現代水田の段があり、東側が1段低くなる。1・2層は現代の盛土・耕作土である。3層は床土と考えられ、瓦質土器が2片出土した。4層は黒褐色シルト層である。5-1・5-2層は黄褐色砂礫層で、地山あるいは河川堆積と考えられる。瓦質土器以外は出土していない。12トレンチ 1・2層は現代の盛土、3～5層は暗褐色層で、3層から弥生土器あるいは土師器片が1点出土している。6層は砂礫層で河川堆積と考えられる。3層出土以外の遺物は、攪乱から近世以降の瓦のみである。13トレンチ 1・2層は現代の耕作土・床土である。3層は暗灰黄色細砂層で、古代～中世の遺物を含む遺物包含層である。4層は黄褐色シルト層、5層は暗褐色細礫層で、遺物は出土していない。6-1・6-2層は黄褐色シルト・暗褐色細礫層で地山と考えられる。4層上面で落ち込みを検出した。14トレンチ 1・2層は現代の耕作土・床土で、3層は旧水田層である。4層は近世の遺物包含層と考えられ、溶解した金属器が付着した粘土塊(ふいご羽口含む)・鉄片・粘土塊などが出土し、周囲に金属器加工工房があったと想定できる。5層は褐色シルトの整地層で、この上面で遺構を多く検出した。遺構は掘削していないため詳細な時期は確定できないが、調査区北端の遺構から中世の東播系こね鉢片が出土したことから、これらの遺構は中世の所産である可能性がある。6層は暗褐色細砂層で中世の遺物包含層、7層は暗褐色細礫層で須恵器などが出土しており古代の遺物包含層であろう。8層は褐色シルト層で地山である。8層上面で溝状の遺構3を検出している。遺構3から須恵器が出土している。15トレンチ 1・2層は現代の耕作土・床土で、3層は旧水田層である。4層はにぶい黄褐色シルト層で、瓦器が出土したことから中世の遺物包含層の可能性がある。5層は南端部で確認した暗褐色シルト層で、弥生土器を



4 トレンチ土層断面図



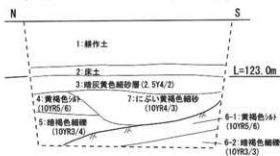
11 トレンチ土層断面図

多く含む遺物包含層である。5層自体が遺構埋土である可能性もある。6-1~6-3層は黄褐色シルト~暗褐色細礫層で地山と考えられる。6層上面で遺構を多く検出した。遺構は掘削していないが、西壁にかかる遺構からは弥生土器の底部が2個体出土し、これらの遺構は弥生時代の所産であると推測できる。16トレンチ 1・2層は現代の耕作土・床土である。3層は暗褐色シルト層であるが遺物は出土していない。4-1~4-4層は黄褐色砂礫層で、地山あるいは河川堆積層と考えられる。17トレンチ 1層は現代の盛土である。2層は暗オリーブ褐色層で、遺物包含層の可能性も考えられたが遺物は出土していない。2層の下面で溝状の遺構を検出した。調査区の南東隅で地山を検出し、溝状の落ち込みを確認できた。遺構埋土から弥生土器片が出土したことから、弥生時代の遺構である可能性がある。調査区が狭いため遺構の規模・性格は不明である。18トレンチ 1-1・1-2・2層は現代の盛土・耕作土・床土である。3層は14・15トレンチの3層に対応する旧水田層である。4層は暗褐色シルト層で遺物包含層の可能性はあるが、遺物は出土していない。5層は黄褐色砂礫層で地山と考えられ、ピットを1基検出した。

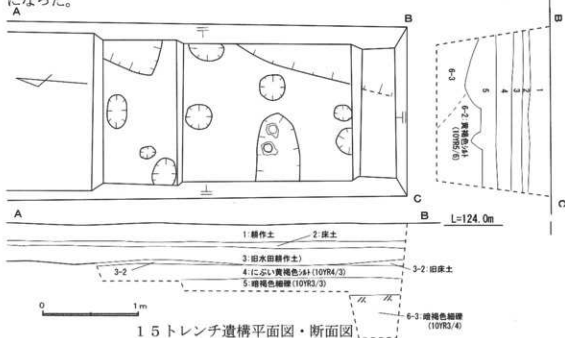
<所見> 今回の調査地の西端部(6~12トレンチ)では、明確な遺構・遺物包含層が確認できず、遺物もほとんど出土していない。中央部付近の1~4・16トレンチでは、遺構は確認できず、遺物もほとんど出土していない。5トレンチでは遺構は確認していないが、遺物が若干出土している。

東端部の13~15・17・18トレンチでは遺構を検出した。特に14・15トレンチでは複数の遺構を検出し、他の調査区に比べて遺物も多く出土している。

確認調査の結果、平成14~16年度に県文化財センターが本発掘調査を実施することになった。



13トレンチ遺構平面図・断面図



15トレンチ遺構平面図・断面図

18. 石ヶ谷遺跡

(調査件名 02-60)

種別 試掘・確認調査

所在地 吉備町西丹生園



遺跡位置図

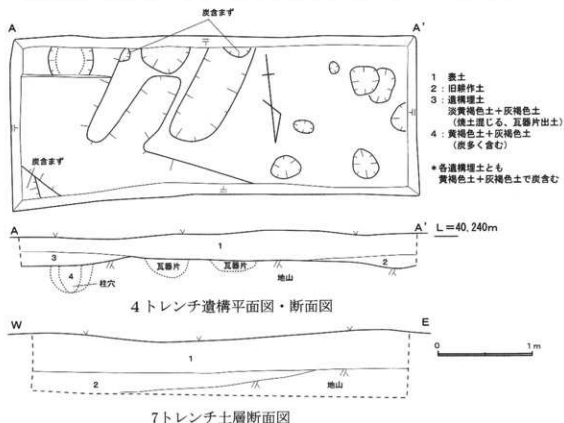


調査位置図

<調査の経緯> 県道吉備金屋線建設に伴う試掘・確認調査。

<調査成果> **調査区の設定** 工区の東から順に第7トレンチまで設定し、遺構分布状況の詳細を確認するため、3-2, 4-2トレンチを追加設定した。基本層序 表土の下が地山面となる。地上には、部分的に旧水田耕作層が残存していた。遺構 3、3-2トレンチ地山面上で遺構を多数確認した。確認調査であったため部分的な遺構掘削にとどめた。遺物 遺構から瓦器、土師器片が少量出土した。

<所見> 3、4トレンチ付近がやや高くなっているものの、地形的には調査区全体にわたり類似した状況を示している。このような状況にもかかわらず、遺構は3トレンチ付近にのみ分布していた。この結果に基づき、3トレンチ周辺について和歌山県文化財センターによる本発掘調査が実施された。詳細は『石ヶ谷遺跡—県道吉備金屋線改築工事に伴う発掘調査—』(2003. 10財団法人和歌山県文化財センター)に掲載。



19. 中井原遺跡

(調査件名 02-54)

種別 立会調査

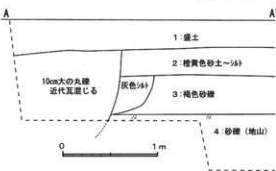
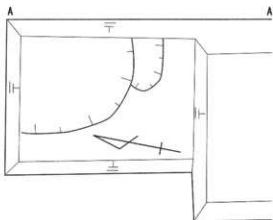
所在地 金屋町中野前田



遺跡位置図



調査位置図



遺構平面図・断面図

<調査の経緯> 個人住宅浄化槽部分の掘削に伴う立会調査。

<調査成果> 2層上面で近代の遺構1基、3層上面で遺構1基を検出したが、遺物を含まなため、時期を特定することができなかった。

22. 葛籠遺跡

(調査件名 02-172)

種別 立会調査

所在地 清水町久野原

<調査の経緯> 個人住宅擁壁部分及び基礎部分の掘削に伴う立会調査。

<調査成果> 擁壁部、基礎部分とも、下のような土層であった。3層黒褐色土層について注意深く掘り下げたが、遺構・遺物とも検出できなかった。



遺跡位置図



土層断面図



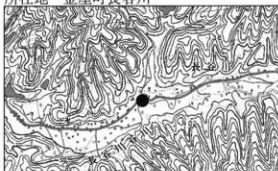
調査位置図

20. 岡の前遺跡

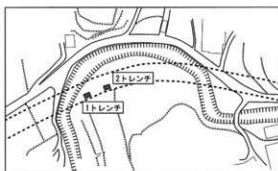
(調査件名 99-161)

種別 試掘・確認調査

所在地 金屋町長谷川



遺跡位置図



調査位置図

<調査の経緯> 国道480号改良工事に伴う試掘・確認調査。

<調査成果> 調査区の設定 道路建設予定地に沿って東西2ヶ所の調査区

(1トレンチ: 1.5×4m、2トレンチ

: 2×3m)を設定した。基本層序 1層

耕作土、2-1層赤褐色砂質土、2-2層

淡黄灰白色砂質土、3層褐色砂礫土、

4層淡黄灰白色砂礫土。1、2層は果

樹園のための耕作土。3層以下は、河

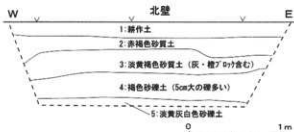
川堆積と考えられる砂礫層であった。

遺構・遺物 検出できなかった。

<所見> 過去に今回の調査区の東約30mで試掘・確認調査を実施しているが、この

ときも遺構・遺物ともなく、土層についても河川堆積層がみられる類似した状況であ

った。このため、本発掘調査の必要はないと判断した。



2トレンチ土層断面図

23. 小熊遺跡

(調査件名 02-38)

種別 立会調査

所在地 川辺町小熊字大阪



遺跡位置図



調査位置図

<調査の経緯> 個人住宅浄化槽部分の掘削に伴う立会調査。

<調査成果> 基本層序 1層 盛土、2-1層 灰色粘土層(現代)、2-2層 灰色粘質土(黄色粘土ブロック含む)、3-1層 暗灰色粘質土、3-2層 暗褐色粘質土、4-1層 黄灰色粘質土、4-2層 淡黄灰色粘質土 遺構・遺物 3層のやや泥炭気味の土層について注意深く掘り下げたが、遺構・遺物は検出できなかった。

24. 手取城跡

種別 現地確認調査

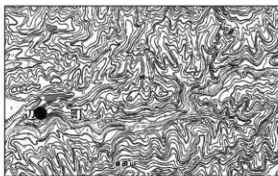
所在地 川辺町和佐

＜調査の経緯＞ 和歌山城郭調査研究会から手取城近くの道路脇の断面に堅堀跡が露出しているとの連絡を受け、現地確認調査を実施した。

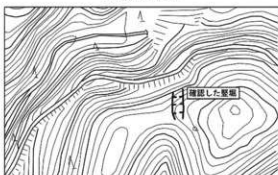
＜調査成果＞ 地形は、従前から堅堀と評価されている部分と類似した位置で尾根を切断している。土層は、地山の上に黒色土（腐植土）が堆積しているが、西側の肩部にはこの黒色土上に黄灰色土が堆積しており、掘削がおこなわれた可能性が高い。他の堅堀がコの字断面を呈するのに対して緩いU字形を呈している点が異なるが、現状資料では堅堀の可能性が高いといえる。

他にも同様の断面形を呈するところが2ヶ所あったが、人工的な掘削や堆積を示すものとはいえない。

＜所見＞ 堅堀の可能性が高く、手取城の一部をなすものとして埋蔵文化財包蔵地の範囲を変更した。変更範囲については2ページ参照。



遺跡位置図



調査位置図

25. 井上I遺跡

(調査件名 02-168)

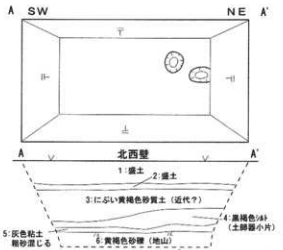
種別 立会調査

所在地 印南町西ノ地小庵

＜調査成果＞ 南西方向にややレベルを下げながら数cmから20cm程度の厚さで堆積する黒褐色シルト層（4層）を確認した。土師器、縄文土器小片をわずかに含む。5層上面でビット2基を検出した。遺物の出土がなく時期は不明。



遺跡位置図



調査位置図

26. 吉原御坊跡

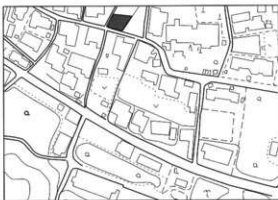
(調査件名 02-114)

種別 立会調査

所在地 美浜町吉原



遺跡位置図



調査位置図

27. 吉原遺跡

(調査件名 58条の2)

種別 試掘・確認調査

所在地 美浜町吉原宇大松原

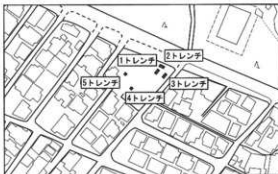
＜調査の経緯＞ 分譲住宅建設に先立ち、業者から試掘・確認調査の依頼を受けた。当該地は吉原遺跡の縁辺部に位置しているが、北側に隣接する県道改良に係る発掘調査（昭和61年度県文化財センター実施）で、弥生時代を中心とする墳墓群が検出されているため、一部包蔵地の範囲外についても調査をおこなった。

＜調査成果＞ 調査区の設定 1～5トレンチを設定した。当該地は以前財務局の官舎があり、基礎等がかなりの範囲に分布しているため、中央付近に調査区を設定することができなかった。基本層序 1層：表土、2層：暗灰黄～オリーブ黒(2.5Y4/2～2.5Y3/2)砂質土、3層：黄褐色～オリーブ褐色(2.5Y5/4～2.5Y4/4)砂質土、4層：灰オリーブ～オリーブ褐色(5Y4/2～2.5Y4/4)砂質土、5層：暗灰黄砂質土(2.5Y4/2) 遺構・遺物 5トレンチの3層上面で掘り込みを確認したが、遺物の出土がないため時期は不明である。遺物は4トレンチ1、3層で土師器1片が出土したのみである。

＜所見＞ 遺構・遺物ともほとんど検出できなかったが、北側の県文化財センター調査区土層との対応関係は確認できた。墳墓を多数検出した遺構面は4層上面に対応していると考えられる。今回の調査は小面積であったため、遺構の検出はできなかったが、分布している可能性は残されており、今回の結果から遺跡外と判断することは現段階では難しい。



遺跡位置図



調査位置図



3トレンチ土層断面図

28. 谷口遺跡

(調査件名 02-260)

種別 立会調査

所在地 南部川村谷口上六斗田



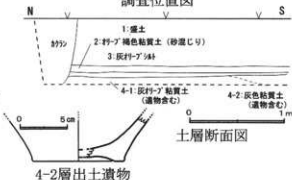
遺跡位置図



調査位置図

<調査の経緯> 個人住宅基礎部分の掘削に伴う立会調査。

<調査成果> 表土から60cm下に弥生時代の遺物を含む灰利-ブ粘質土(4-1層)が堆積。この層は南方へ落ち込んでおり、落ち込み部の上には灰色粘質土(4-2層)が堆積する。4-2層にはより多くの遺物が含まれる。工事の掘削深度の関係上これより下位の確認はできなかった。



29. 高田土居城跡

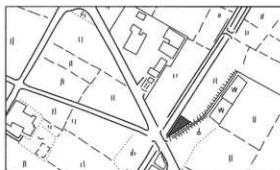
(調査件名 00-99)

種別 立会調査

所在地 南部町佐藤



遺跡位置図



調査位置図

<調査の経緯> 県道上富田南部線拡幅工事に伴う立会調査。

<調査成果> 砂礫層(8層)の上に炭・木片を多く含む黒褐色粘質土層(7層)、褐色系粘質土層(1~6層)が堆積する。南東部で高田土居城の外堀の可能性が有る溝跡を検出したが、遺物の出土がなく、時期を確定することができなかった。



土層断面図

30. 徳蔵地区遺跡

(調査件名 00-101)

種別 立会調査

所在地 南部川村徳蔵

<調査の経緯> 国道424号線改良工事に伴う試掘・確認調査。

<調査成果> 調査区の設定 道路東側に9～11トレンチを設定した(番号は昨年度調査からの連番)。

9トレンチ 層序 3層までは現代。この下にシルト層(5層)が堆積。5層の北半は薄く、上部に砂礫層(4層)が堆積しており、河川の上部堆積層と考えられる。7～9層はシルト層で南端部に河川の肩部として検出した。6層は砂礫層で河川の下部堆積層と考えられる。地表から2.3mで10層の砂礫層を検出。遺構・遺物 遺構は検出できず、遺物も5, 6層から土師器片が各1点出土したのみである。10トレンチ 層序 基本的に9トレンチと同じ堆積で、河川の上部砂礫層(4層)、黄褐色シルト～粘質土層(5層)、河川の下部砂礫層(6層)に分けることができる。遺構・遺物 遺構は検出できず、遺物も6層から土師器片が数点出土したのみである。

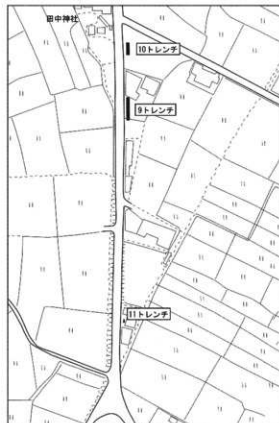
11トレンチ 層序 0.6×2mの狭小な範囲の調査となった。地表から約70cmまでは攪乱されており、以下に黄灰色シルト層が続く。遺構・遺物 シルトから土師器片が数点出土したが、時期は不明。

<所見> 9, 10トレンチ付近はほぼ南北方向に自然河川が流れており、遺跡の分布は認められない。11トレンチ付近は、調査面積が小さく今回の調査でははっきりとした状況をつかむことができなかったが、東、南隣の日本文化財センター

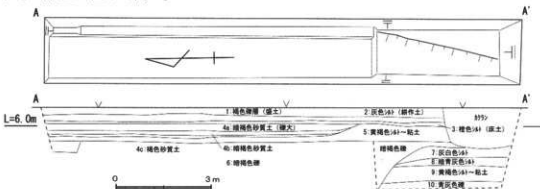
2001, 1998年調査結果から判断すると、微高地が続いており、遺構・遺物が含まれる可能性が極めて高い。



遺跡位置図



調査位置図



9トレンチ平面図・断面図 (S=1/120)

3 1. 徳蔵周辺遺跡

(調査件名 01-323)

種別 試掘・確認調査調査

所在地 南部町東吉田

<調査の経緯> 古川改修工事に伴う試掘・確認調査

<調査成果> 調査区の設定 古川左岸の下流側から順に1～3トレンチを、右岸の上流側から順に4～6トレンチを設定した。

1トレンチ 層序 地表から1.2m程掘り下げ、1層から6層までを確認した。5層は、鉄分の量、土質からa, b, cの3層に細分できる。5b層は、縦筋状の鉄分を非常に多く含む。5c層は、粘質土をベースとするが少量の砂を含み、やや青灰色を呈する。6層は、青灰色粘質土であるが、5c層より砂分が多い。遺構・遺物 遺構は検出できなかった。遺物についても、3層から備前焼の播鉢片1点、4or5層から土師質の薄片(時期不明)が1点出土したのみである。

2トレンチ 層序 地表から1.3m程掘り下げて1層から7層までを確認した。第1トレンチと類似した土層であるが、6層の下部に木片を含むやや黒っぽい青灰色粘質土層(6b層)がある。この下に青灰色砂礫層が続く。遺構・遺物 遺構は、4層上面で小ピットを1個検出したのみである。遺物についても、第1、3層から少量の摩耗した土師質の土器片(時期不明)が出土したのみである。

3トレンチ 層序 3トレンチは、地表から1.3m程掘り下げて1層から6層までを確認した。2トレンチとほぼ同様の土層であるが、6b層に木片とともに比較的多くの土器を含む。この下20cm程を掘り下げ、遺物がなくなることは確認したが、砂礫層(7層)までは達しなかった。遺構・遺物 遺構は検出できなかった。6b層で比較的摩耗の少ない弥生時代終末から古墳時代初頭(庄内式段階)の土器が約50片出土した(須恵器2点含む)以外は、4層で少量の摩耗した土師質土器片が出土したのみである。

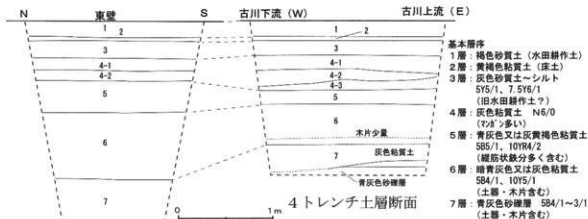
4トレンチ 層序 地表から1.6m程掘り下げたと



遺跡位置図



調査位置図



5 トレンチ土層断面

ここで湧水があったが、7層まで確認することができた。1～3トレンチと異なり、3層と5層の間に砂礫層と粘質土層を計3層挟む。木片を含む6b層があることは、第3トレンチと同様であるが、土器が7層に含まれる点において異なる。7層は、2トレンチとほぼ同レベルで検出した。遺構・遺物 遺構は検出できなかった。7層で3トレンチ6b層検出の遺物と同時期（庄内式期）の土器が多く出土した（須恵器も2点含む）。5トレンチ 層序 地表から1.8m付近で湧水があったが、7層まで確認することができた。4トレンチと同様の土層であるが、6層が厚く堆積し、4トレンチに比べ30cm程下で7層を検出した。遺構・遺物 遺構は検出できなかった。遺物は、7層中の上位で少量土器片（小片のため断定できないが、庄内式期の可能性が高い）が木片とともに出土した。6トレンチ 層序 6トレンチは、4層までは確認できるものの、その下は、粘質土ベースに砂、1cm大の礫が混じる層と4cm大の礫を多く含む砂礫層が続く、他のトレンチと異なる。しかし、この前後約2mの位置に設定した6-2、3トレンチでは、他のトレンチと同様の堆積をしている。

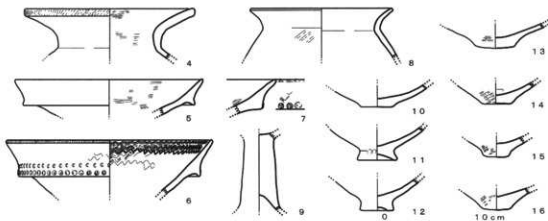
<所見> 今回の試掘調査範囲は、ほぼすべてが低（湿）地であったが、東に道を1本隔てて隣接する場所は、北へ舌状に伸びた丘陵であり、弥生時代終末から古墳時代初頭にかけての集落があったことが発掘調査（平成13年度和歌山県文化財センター実施）で明らかになっている。

この調査結果を考慮すれば、今回の第3トレンチ第6b層、第4、5トレンチ第7層出土の弥生時代終末から古墳時代初頭に位置づけられる土器は、丘陵からの転落遺物であると考えられる。この時期の地形は、丘陵と1.6m以上のレベル差があり、丘陵から急激に落ち始め、3、5トレンチ付近（実際はもう少し西か？）で、最も低レベルとなり、第2、第6トレンチ付近で再び若干レベルを上げる。また、第4、5トレンチでは、砂礫に埋まるように土器が出土することや、第4トレンチで薄い粘質土層を砂礫層中に挟むことから考えて、当時、丘陵端に沿った南北方向の水の流れがあった可能性を考慮することができる。いずれにしても、丘陵の西側は低地で、湿地あるいは河川を形成しており、遺跡は存在しない。時期については、須恵器の存在から、少なくとも弥生時代終末から6世紀まではこのような地形であったと思われる。

この時期以降の5層堆積時の環境は、（青）灰色粘質土と葦などの植物痕跡と思われる鉄分から、湿地を形成していたと思われる。3層、4層も大部分が灰色粘質土であるが、3トレンチ3層、6トレンチ3、4層に砂分の多い灰色土、マンガ、散乱した鉄分など旧水田耕作層と考えられる痕跡が見られる。



3トレンチ6層出土土器



4トレンチ7層出土土器

3.3 東吉田 I・II 遺跡

(調査件名 97-327)

種別 立会調査

所在地 南部町東吉田

<調査の経緯> 近畿自動車道建設に伴う

東吉田 I、II 遺跡周辺の試掘・確認調査

<調査成果> 調査区の設定 トレンチは

県道秋津川南部線から順に東へ第 1～11 ト

レンチを設定した。なお、詳細な状況確認

のため、第 6 トレンチの南側に第 6-2 の小

トレンチを追加設定した。各トレンチの概

要層序 すべてのトレンチで概ね類似し

た状況を観察することができた。東側で 1

～3 層が削平されているが、5 層までは鉄分、

マンガン、分布状況から土層を対応づ

けることができる。これより下は、1～2 ト

レンチ、3～6 トレンチ、7 トレンチ、

8～9 トレンチ、10～11 トレンチで若干の違

いが見られた。

1～2 トレンチでは、6～8 (1 トレンチは 9 層

まで) 層の灰～緑灰色シルトが交互

に薄く堆積する状況が観察できた。3～6

トレンチでは、7、8 層が見られず、泥炭

気味の 6 層の下が 9 層 (灰色シルト) と

なる。7 トレンチは、5 層の下に根の痕跡

を多く残す 8 層 (酸化が十分でないためか

黒っぽい) が見られた。8～9 トレンチは、

5 層と 8 層の間に泥炭気味の 6 層が介在

する。10～11 トレンチは盛土が厚いため、

6 層以下を確認することができなかった。2、

4、6、7 トレンチについて埋め戻し時

に 2 m 程度深掘りをしたが、すべて灰色

のシルト～粘土層が続いていた。遺構・遺

物 3b 層上面で近世と考えられる鋤溝を

検出した以外遺構の検出はできなかった。

遺物は、各層 (特に 3a、b 層 (旧水田層))

から少量土師器片が出土したのみである。

これらはすべて小片で、摩耗が激しい。

<所見> 調査区全面で、3 層のマンガン、

4、5 層の縦筋状の鉄分、6 層の泥炭な

ど有機物の痕跡が観察できた。しかしな

がら、6 層は、水中に有機物が閉じこめ

られた状況、4、5 層は湿地植物が分布

している状況を示しており、人が生活

できる環境ではなかったと考えられる。

また、6 層より下では、植物の痕跡すら

見られない灰色系のシルト又は粘土

である。7 トレンチの 8 層については、

植物の痕跡が見られ、比較的堅い安定

した地盤を形成していたようであるが、

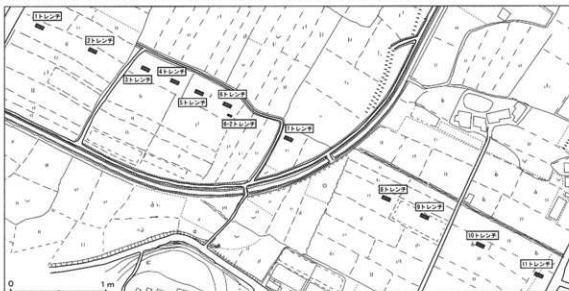
周辺の調査状況から考えると非常に小

規模な範囲であり、生活が営まれていた

とは考えにくい。



遺跡位置図



遺跡位置図

3.4. 熊岡Ⅱ遺跡

(調査件名 ①02-20/②00-338)

種別 ①確認調査/②立会調査

所在地 南部川村熊岡

①確認調査

<調査の経緯>

熊岡Ⅱ遺跡は、平成13年度に(財)和歌山県文化財センターが実施した試掘・確認調査の結果、奈良時代～中世を中心とした遺物を含む包含層が確認できた埋蔵文化財包蔵地である。今回、遺跡内において村道熊岡高原田線改良(拡幅)工事がおこなわれることになり、事前に遺跡の実態を明らかにする目的で確認調査を実施することになった。

<調査成果> 調査区の設定 工事予定地内に3箇所の調査区(1～3トレンチ)を設けて調査をおこなった。それぞれの調査区の規模は、1トレンチ:2×3m、2トレンチ:2.5×3m、3トレンチ:2.5×4mで、合計調査面積は23.5㎡である。各トレンチの概要 1トレンチ 3層および4層から中世を中心とする遺物が出土した。これらの層は水田耕作に関わる堆積と考えられ、遺物は周囲から流れ込んだものである可能性がある。5層上面で河川と思われる落ち込みを検出したほかは明確な遺構は検出できなかった。なお、調査区外の西側隣接地における土層露出部分で、5層上面から掘り込まれる遺構が確認できた。この調査区より西側は現在の水田面が一段低くなっており、すでに6層より上部は削平されている可能性が高いと考えられる。

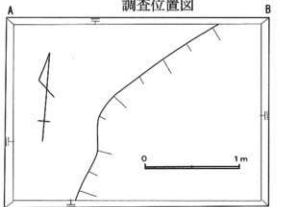
2トレンチ この調査区では、3～5層から遺物が出土した。特に3、4層からは中世を中心とした遺物が多く出土している。3、4層より下層は、礫層(5層)、シルト～粗砂層(6層)となっており、河川堆積あるいは氾濫による堆積層であると考えられる。5層上面で、ビットを2基検出した(遺構1・2)。遺構1は径30cmをはかるビットで、埋土は礫混じり暗灰色シルトである。埋土上層より白磁片が出土した。遺構2は炭化物を多く含むビットである。いずれも遺構掘削はおこなっていないため、遺構の時期・性格は不明であるが、遺構2出土遺物より中世の可能性が考えられる。3トレンチ 3～6層から遺物が出土した。出土した遺物から3層は近代、4・5層は中世の時期に相当する。6層は古墳時代の可能性がある。3および5層は水田耕作に関わる堆積で、4層は河川または洪水堆積であると推測できる。7層以下は、河川および湿地状の堆積である。遺構



遺跡位置図



調査位置図



1トレンチ遺構平面図・断面図

は、6層上面に溝状の遺構がある。埋土は黄褐色礫層で、東西方向にのびる。

出土遺物 出土遺物は、中世のものが大半を占め、土師器・陶器・白磁・瓦器・山茶碗などが出土した。

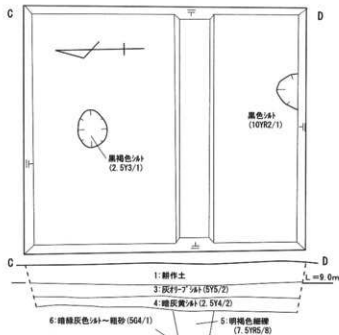
<所見> 今回の調査では、各調査区で遺物包含層を確認できた。昨年度文化財センターが村道付近で実施した7・9グリッドでも中世の遺物包含層が認められている。遺構は、2トレンチでピットを2基、3トレンチで溝を1条検出した。センターがおこなった7・9グリッドでは遺構は検出されていない。各調査区の土層断面の観察から、中世以降の水田耕作層が確認でき、部分的には洪水層あるいは湿地状と考えられる層も認められる。

②立会調査

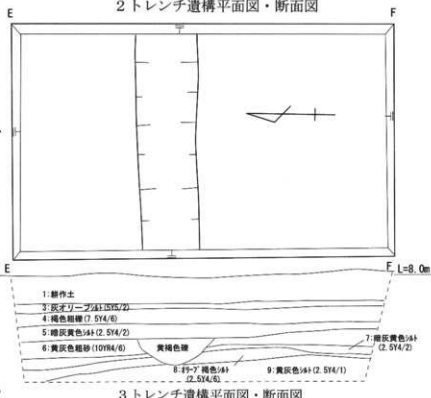
<調査の経緯> ほ場整備事業に係る水路設置工事に伴う立会調査。

<調査成果> 調査区の設定 北側から順に4、5トレンチを設定した(試掘・確認調査から連番)。

遺構・遺物 遺構は検出できなかったが、2～5層から古墳時代から中世の遺物が出土した。



2トレンチ遺構平面図・断面図



3トレンチ遺構平面図・断面図



4トレンチ土層断面

35. 大塚遺跡

(調査件名 01-197)

種別 立会調査

所在地 南部町東吉田大塚



遺跡位置図



調査位置図

36. 江津良遺跡

(調査件名 02-207)

種別 立会調査

所在地 白浜町龍頭



遺跡位置図



調査位置図

37. 川関遺跡

(調査件名 02-202)

種別 立会調査

所在地 那智勝浦町天満



遺跡位置図



調査位置図

岩橋千塚古墳群の調査

1. 保存処理鉄器の再実測及び平成6年度調査の出土遺物

平成8年度に実施した大谷山・大日山古墳群の調査（『岩橋千塚周辺古墳群 緊急確認調査報告書』平成12年3月31日和歌山県教育委員会）で多くの鉄製品が出土している。平成14年度に、この一部について文化庁の国庫補助事業として保存処理を行った結果、当時の認識と異なる部分が生じたため、再実測をおこないその実測図を掲載した（図100～105）。

平成14年度の保存処理事業では、平成6年度に発掘調査した大谷山12～17・38号墳出土の鉄製品の一部についても実施した。この発掘調査資料については、未報告であったので、保存処理遺物以外の遺物についても今回掲載することとした。

2. 平成6年度 岩橋千塚古墳群（大谷山地区）の調査

出土遺物掲載にあたって、平成6年度の調査概要について報告する。

調査方法

大谷山北斜面に計画された宅地造成に対し、保存協議資料を得るため、大谷山地区のうち最も東側の尾根に所在する12・13・14・15・16・17・38号墳の確認調査を行った。

保存協議資料とするため内部主体の確認を主眼とし、発掘調査は最小限とすることとした。墳丘については、目視で確認できないものについてトレンチ調査を行い、墳裾を確認した。以下に各古墳の調査成果を示す。

12号墳

墳丘 大谷山山頂から派生する4筋の尾根のうち、最も東側の尾根の最先端、標高約43mの稜線上に築造された径12m、墳丘高2.6mの円墳である。腐植土から円筒埴輪片が出土している。

埋葬施設 既に乱掘を受けており埋葬施設は確認できなかった。墓坑が確認されず、周辺に石材の散布も見られなかったことから、埋葬施設として木棺直葬あるいは粘土槨が考えられる。

13号墳

墳丘 12号墳の南南西上方約44m、標高約47mに位置する径13m、墳丘高1.8mの円墳で、主線からやや外れた東斜面に築造されている。

埋葬施設 墳丘のほぼ中心部に構築した、結晶片岩を使用した横穴式石室を埋葬施設とする。横穴式石室は南東方向に開口する両袖式で、玄室・玄室前道・羨道からなる。玄室は幅1.85m・奥行2.35mを測るが、壁体は床面から0.51～1.30mを残し上半部は欠失していた。内部に玉石を詰め、板石で蓋をした排水溝が岩盤を掘り込んで設けられ、壁面際四周を回り羨道外へ抜ける。床面には玉石が敷かれていたが、四隅を除き攪乱を受けていた。

14号墳

墳丘 12号墳の南西上方約21m、標高約42mに位置する径15m、墳丘高4.3mの円墳で、尾根稜線上に築造されている。

埋葬施設 墳丘の中心部からやや東よりに構築した、結晶片岩を使用した横穴式石室を埋葬施設とする。横穴式石室は、13号墳同様、南東方向に開口する両袖式で、玄室は幅1.95m・奥行2.1mを測るが、壁体は床面から0.96～1.20mを残し、上半部は欠

失していた。玄室内からは排水溝を検出できなかったが、壁体下に設けられている可能性がある。床面には玉石が敷かれている。

15号墳

墳丘 14号墳の南西上方約35m、標高約54mに位置する径15m、墳丘高4.1mの円墳で、稜線上に築造されている。

埋葬施設 結晶片岩を使用した南東方向に開口する両袖式の横穴式石室を埋葬施設とする。玄室は幅1.9m・奥行2.30mを測るが、壁体は床面から0.40～0.70mを残し、上半部は欠失していた。14号墳同様、玄室内からは排水溝を検出できなかったが、壁体下に設けられている可能性がある。床面には玉石が敷かれている。

38号墳

墳丘 15号墳の西南西上方62m、標高約70mに位置する径10m、墳丘高1.8mの円墳で、稜線上に築造されている。

埋葬施設 墳丘の中心部に構築した、結晶片岩を使用した横穴式石室を埋葬施設とする。横穴式石室は南方向に開口する両袖式で、玄室幅0.95m・奥行2.25mを測る小型長方形石室である。壁体は床面から0.13～0.22mを残し、上半部は欠失していた。玄室には幅0.80m、長さ0.35mの玄室前道が設けられ、これに幅0.82m、長さ1.00mの羨道が付く。玄室床面には、片岩の板石が前面に敷かれていた。なお、排水溝を検出できなかったが、当初から設けられていなかったものと考えられる。

17号墳

墳丘 38号墳の南西上方12m、標高約72mに位置する径13m、墳丘高1.6mの円墳で、稜線上に築造されている。墳丘頂部から家形埴輪片が出土している。

埋葬施設 墳丘中央部に、尾根筋方向に主軸をもちほぼ並行する2基の竪穴式石室を埋葬施設とする。

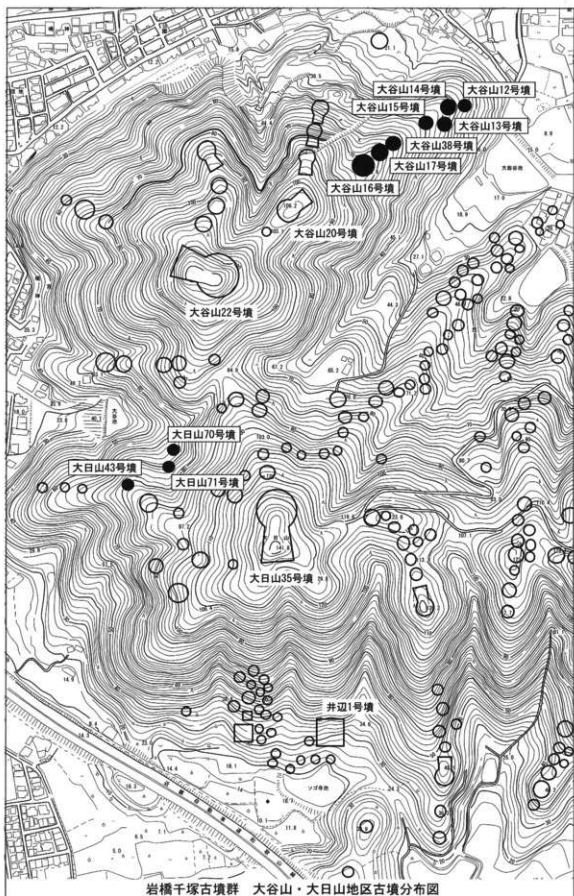
第1埋葬施設：2基のうち北側に位置する竪穴式石室で、西側小口近くが乱掘により破壊を受けるとともに、壁体は床面から0.30～0.40mを残すだけで壁体上部及び天井石は欠失する。石室規模は、東側小口幅0.83m、西側小口幅0.73m、主軸長3.10mを測る。東側小口壁から0.41mのところ板石を横立させ一室を画し、この中に鉄製品が副葬されていた。

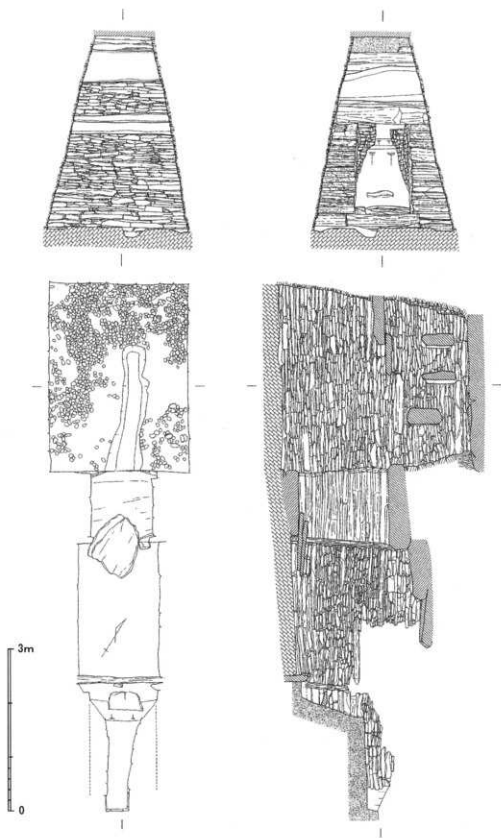
第2埋葬施設：南側に位置する竪穴式石室で、第1主体部に比べ乱掘による破壊が著しく、石室西側約1/3を残し欠失していた。石室規模は、残存する西側小口幅0.84m、残存壁長2.94mを測る。残存する壁体高は第1主体部とほぼ同じである。

16号墳

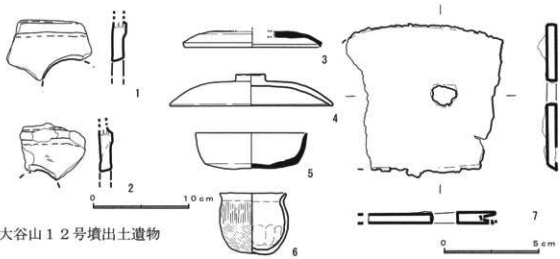
墳丘 大谷山20号墳から北東に延びた支尾根の最高所に築造された径20m、墳丘高3.6mの円墳で、17号墳の南西20m、標高約76mに位置する。今回、確認調査を行った古墳中最大規模の円墳である。

埋葬施設 墳丘の中心部に構築した、結晶片岩を使用した横穴式石室を埋葬施設とする。横穴式石室は、玄室・玄室前道・羨道で構成され、南東方向に開口する全長7.61mの両袖式である。玄室は基底部分で幅2.60m、奥行3.56m、高さ3.62m、玄室前道は幅1.31m、長さ1.30m、高さ1.48m、羨道は幅1.40m、長さ2.75mを測る。玄室には3本の垂直梁が架構され、奥壁には三方の壁体に組み込んだ石棚を持つ。この石棚には、さらに左右の壁体に組み込んだもう1枚の石が前方に迫りだすように重ねて積まれており、この2枚の石で棚を構成する。玄室床面には玉石が前面に敷き詰められている。排水溝は、玄室中央石室主軸方向に1条設けられている。



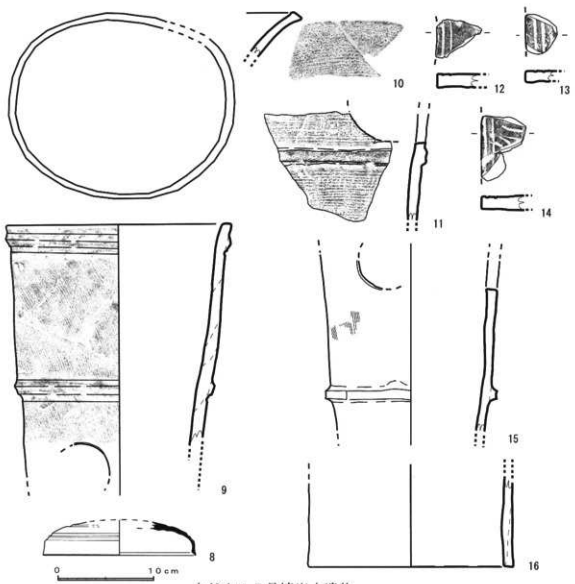


大谷山16号墳石室実測図 (S=1/70)

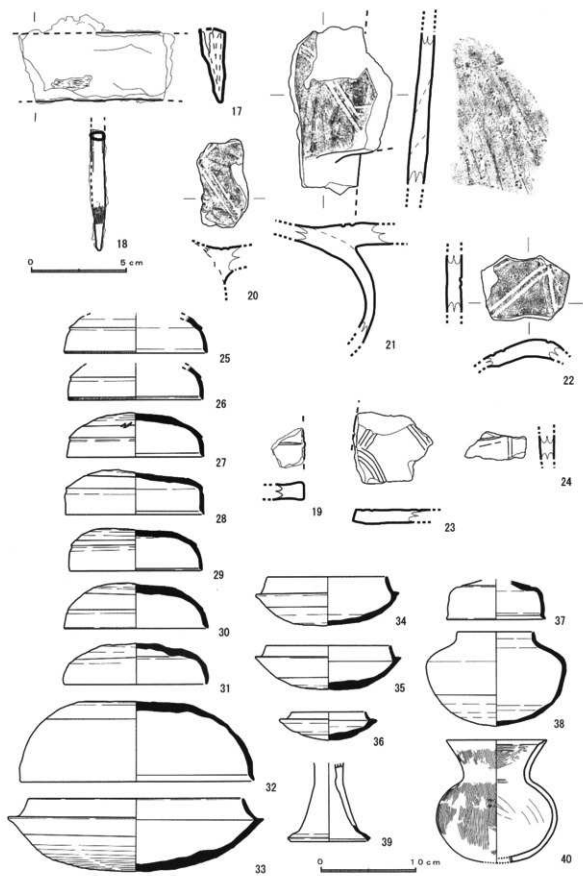


大谷山1 2号墳出土遺物

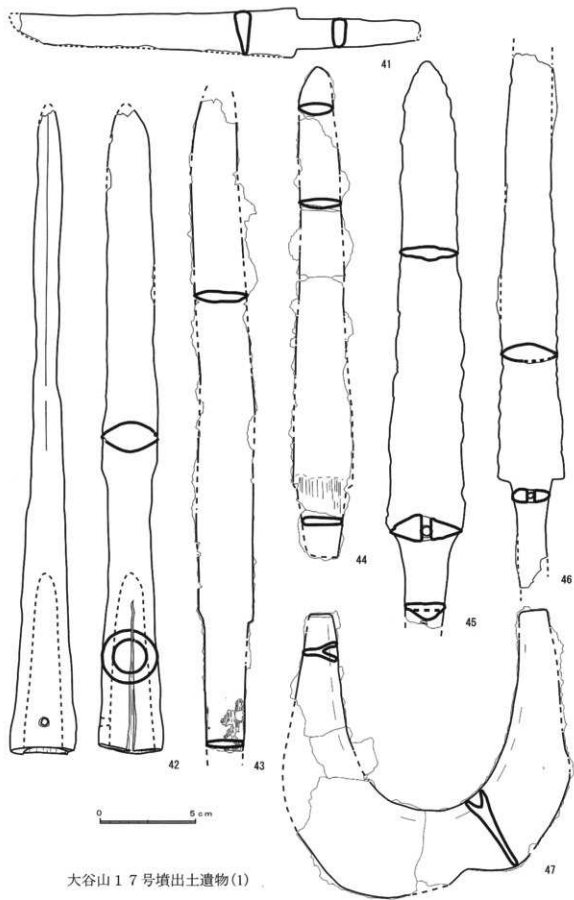
大谷山1 3号墳出土遺物



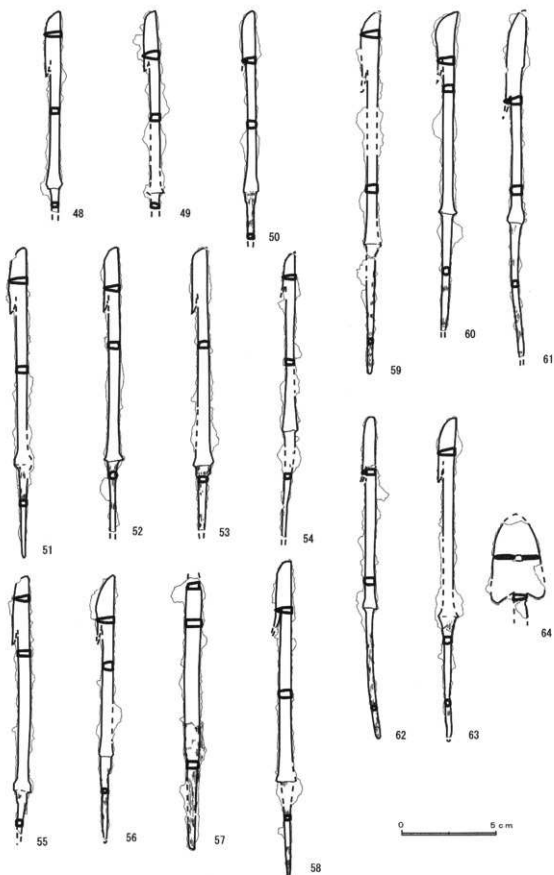
大谷山1 5号墳出土遺物



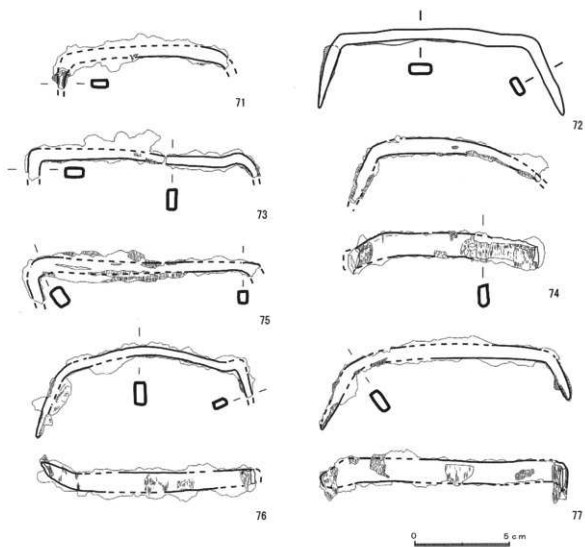
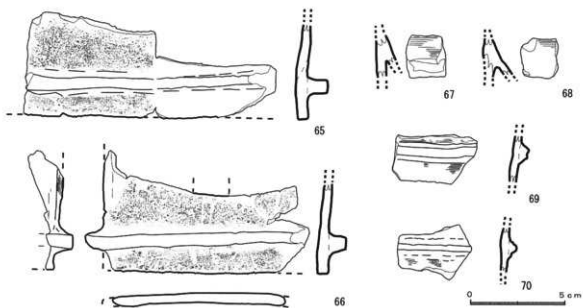
大谷山14号墳出土遺物



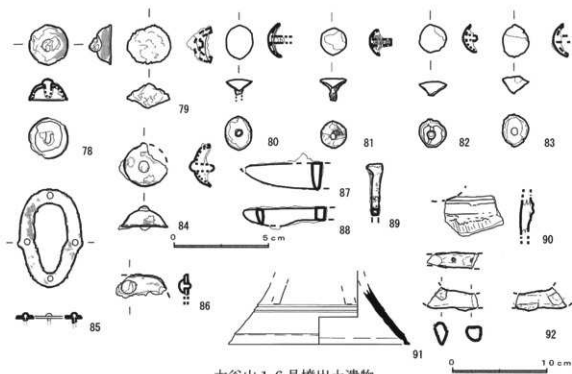
大谷山17号墳出土遺物(1)



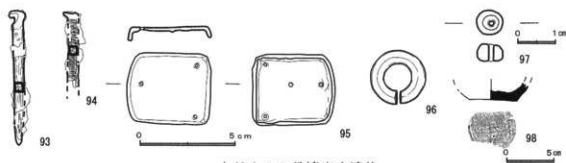
大谷山17号墳出土遺物(2)



大谷山17号墳出土遺物(3)



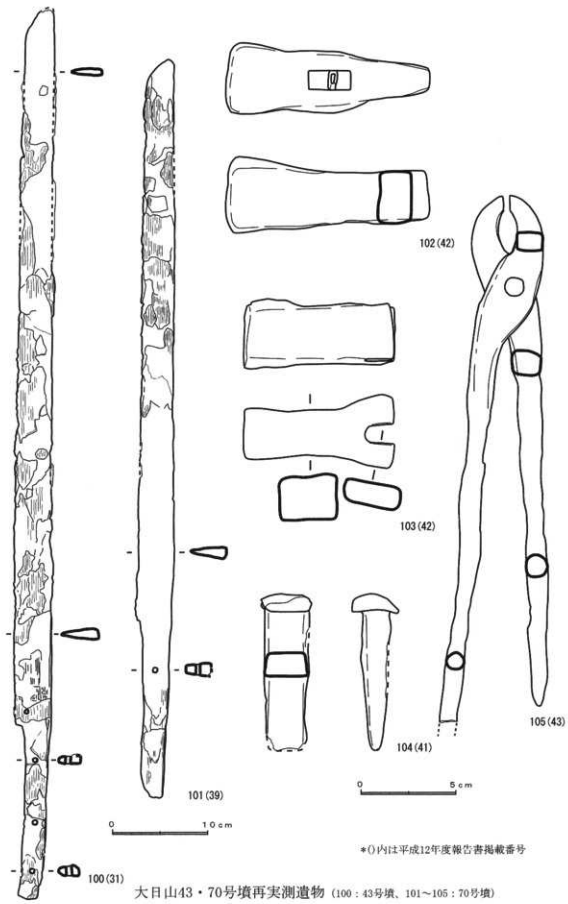
大谷山 16号墳出土遺物



大谷山 38号墳出土遺物



大谷山古墳群出土遺物



大日山43・70号墳再実測遺物 (100: 43号墳、101~105: 70号墳)

大谷山・大日山古墳群出土遺物調査表

図	遺物	出土地点	特徴・法量	調整	胎土 (ID 00000, 00001, 00002, 00003, 00004, 00005)	残存率	登録
前1	内棺埴輪	大谷山12号墳	透孔あり, 色黒 5YR6/4褐色 (断面5YR2/反褐色), 上下不明	外周 貼付痕跡(字跡)(白粉), 裏面 指す字あり	4mm白-1mm黒中多い	-	2
前2	内棺埴輪	大谷山12号墳	透孔あり, 色黒 10YR6/4C14L黄褐色(断面10YR2/反褐色), 上下不明	外周 断続的な字跡(白粉), 外周 横ハケ?, 裏面 指す字あり	5mm白-赤中多い	-	2
前3	直立埴輪	大谷山12号墳	透孔あり, 色黒 5YR7/4褐色 (断面5YR2/反褐色)	内周 横ハケ?, 外周 不定方向(字跡)あり	1mm白-赤中多い	1/2	3
前4	大形埴輪	大谷山12号墳	口径19.5, 高さ4.4, 口内面凹状縁状	内周 黒化ハケ, 内面 横ハケ?	1-2mm白-赤	1/4	6
前5	直立埴輪	大谷山13号墳	口径11.7, 高さ3.8	内周 横ハケ?, 底面 指す字あり(黒化)	3mm白	1/2	5
前6	土師器小形壺	大谷山13号墳 土室南壁基部 溝内上	黄緑褐色黄褐色	外周 ハケ, 内面 赤; 指す字		-	177
前7	不明埴輪品	大谷山13号墳	色黒			-	2
前8	直立埴輪	大谷山13号墳	口径10.7, 高さ2.6	内外 横ハケ, 外周 黒化ハケあり	4mm白-1mm黒中多い	1/4	121-184
前9	埴輪埴輪	大谷山13号墳	中円形断面(直径23.9-径厚13.3), 透孔あり, 色黒 10YR7/4褐色 (断面10YR6/2反褐色)	外周 断続的な字跡(黒化ハケ), 外周 横ハケ?, 裏面 指す字あり	5mm白, 3mm黒-赤中多い, 2mm赤	-	168
前10	埴輪埴輪	大谷山13号墳	口径10.7, 高さ2.6	内外 横ハケ(4.8x1.0), 内面 不明	3mm白多い, 1-2mm黒-赤 薄く少ない, 1mm黒化ハケ	-	165-170
前11	内棺埴輪	大谷山13号墳	透孔あり, 色黒 7.5YR6/4褐色, 図11-図16と同一体験的可能性あり	外周 横ハケ(4.8x1.0), 外周 横ハケ?, 裏面 指す字あり(若干黒化), 内周 横ハケ? (部分の方向不明な字跡(工具痕跡)あり)	1-2mm白-赤中多い, 1mm黒-赤少ない, 1mm黒化ハケ	-	171
前12	埴輪埴輪	大谷山13号墳	2本の透孔, 色黒 5YR6/4褐色(断面7.5YR7/4褐色), 図13-14と同一体験か, 上下不明	調整不明	2mm白-赤-赤中多い, 1mm下層	-	170
前13	埴輪埴輪	大谷山13号墳	2本の透孔, 色黒 5YR6/4褐色(断面7.5YR7/4褐色), 図12-14と同一体験か, 上下不明	調整不明	2mm白-赤-赤中多い, 1mm下層	-	170
前14	埴輪埴輪	大谷山13号墳	6本の透孔, 色黒 5YR6/4褐色(断面7.5YR7/4褐色), 図13-16と同一体験か, 上下不明	調整不明	2mm白-赤-赤中多い, 1mm下層	-	165-168
前15	内棺埴輪	大谷山13号墳	透孔あり, 色黒 5YR6/4褐色(断面5YR5/4C14L褐色)	外周 横ハケ(断面ハケ), 外周 横ハケ?, 裏面 指す字あり(若干黒化), (白粉-若干黒化)あり, 内周 指す字	1.5mm黒あり(多い), 3mm白-赤-赤中多い, 1mm白-赤中多い, 1mm下層中赤中多い	-	165-172
前16	内棺埴輪	大谷山13号墳	色黒 7.5YR6/4褐色(断面一部10YR2/反褐色)	調整不明	3mm白-赤中多い, 1mm黒-赤中多い, 3mm黒化ハケ	-	165
前17	鏡刀か	大谷山14号墳	一部木質残存			-	120
前18	鏡刀	大谷山14号墳	縦方向に木質残存, 縁部欠損			1/2	127
前19	埴輪埴輪	大谷山14号墳	1本の透孔, 色黒 5YR6/4褐色(断面10YR7/4褐色), 上下不明	調整不明(字跡?)	5mm白中多い, 1mm赤中多い	-	144
前20	埴輪埴輪	大谷山14号墳	2本の透孔, 色黒 5YR6/4褐色(断面10YR7/4褐色), 上下不明	外周 横ハケ(断面ハケ), 外周 横ハケ?, 裏面 内周部の貼付痕跡(茶葉灰の痕跡)あり	5mm黒-白中赤多い, 3mm赤中多い, 1mm白-黒化ハケ	-	144
前21	埴輪埴輪	大谷山14号墳	3本の透孔, 色黒 5YR6/4褐色(断面10YR7/4褐色), 図19-20と同一体験の可能性あり	断面外周 字跡あり, 内周部外周 斜め方向の字跡あり, 内面(裏面)内周部 指す字あり	5mm赤中多い, 2-3mm白-赤中多い, 1mm下層	-	147
前22	家形埴輪(口蓋)	大谷山14号墳	4本の透孔, 色黒 10YR5/1褐色(断面), 口径21-12mm幅太く, 上下不明	調整不明	4mm黒-3mm黒-白中赤多い, 2mm赤	-	152
前23	家形埴輪か	大谷山14号墳	5本の透孔, 色黒 10YR6/4褐色(断面7.5YR2/反褐色), 図24と同一体験か, 上下不明	調整不明	4mm黒-3mm黒-白中赤多い, 2mm赤	-	152
前24	家形埴輪	大谷山14号墳	2本の透孔(断面ハケあり)あり, 色黒 5YR6/4褐色(断面7.5YR2/反褐色), 図24と同一体験か, 上下不明	調整不明	4mm黒-3mm黒-白中赤多い, 2mm赤	-	152
前25	直立埴輪	大谷山14号墳	口径14.9, 高さ4.7, 天井部縁部明確, 縁部中心赤, 内面(MT15-TK10)	内外 横ハケ, 外周 黒化ハケあり, 内周 指す字(若干黒化)あり	2mm白少	1/3	51
前26	直立埴輪	大谷山14号墳	口径14.1, 縁部正確, 天井部縁部明確, 天井部に赤色顔料, (MT15-TK10)	内外 横ハケ, 外周 黒化ハケあり, 内周 指す字(若干黒化)あり	3mm白少	1/2	123
前27	直立埴輪	大谷山14号墳	口径14.9, 高さ4.7, 天井部縁部明確, 縁部中心赤, 内面(裏面)指す字あり	内外 横ハケ, 外周 黒化ハケあり, 内周 指す字(若干黒化)あり	6mm白-黒中多い	3/4	55
前28	直立埴輪	大谷山14号墳	口径14.9, 高さ4.7, 天井部縁部明確, 縁部中心赤, 内面(裏面)指す字あり	内外 横ハケ, 外周 黒化ハケあり, 内周 指す字(若干黒化)あり	1mm白少	寛跡	17
前29	直立埴輪	大谷山14号墳	口径13.8, 高さ13.8, 縁部わずかに凹, 天井部縁部突出しないが不明	内外 横ハケ, 外周 黒化ハケあり(若干黒化)あり, 内周 黒化ハケあり	6mm黒-白	3/4	48
前30	直立埴輪	大谷山14号墳	口径13.8, 高さ13.8, 天井部縁部凹状, 縁部あり, 外周に赤色顔料あり, (TK43)	内外 横ハケ, 外周 黒化ハケあり(若干黒化)あり, 内周 黒化ハケあり	3mm白	1/2	52
前31	直立埴輪	大谷山14号墳	口径14.9, 高さ4.3, 縁部先丸みあり, 天井部縁部中心赤, 内面(裏面)指す字あり, 裏面ハケあり, (TK43)	内外 横ハケ, 外周 黒化ハケあり, 内周 指す字(若干黒化)あり	2mm白	1/2	52
前32	直立埴輪	大谷山14号墳	口径14.9, 高さ4.3, 天井部縁部凹状, 縁部あり, 外周に赤色顔料あり, (TK43)	内外 横ハケ, 外周 黒化ハケあり, 内周 指す字(若干黒化)あり	2mm白	1/2	52
前33	直立埴輪	大谷山14号墳	口径14.9, 高さ4.3, 天井部縁部凹状, 縁部あり, 外周に赤色顔料あり, (TK43)	内外 横ハケ, 外周 黒化ハケあり, 内周 指す字(若干黒化)あり	2mm白	1/2	52
前34	直立埴輪	大谷山14号墳	口径14.9, 高さ4.3, 天井部縁部凹状, 縁部あり, 外周に赤色顔料あり, (TK43)	内外 横ハケ, 外周 黒化ハケあり, 内周 指す字(若干黒化)あり	2mm白	1/2	52
前35	直立埴輪	大谷山14号墳	口径14.9, 高さ4.3, 天井部縁部凹状, 縁部あり, 外周に赤色顔料あり, (TK43)	内外 横ハケ, 外周 黒化ハケあり, 内周 指す字(若干黒化)あり	2mm白	1/2	52
前36	直立埴輪	大谷山14号墳	口径14.9, 高さ4.3, 天井部縁部凹状, 縁部あり, 外周に赤色顔料あり, (TK43)	内外 横ハケ, 外周 黒化ハケあり, 内周 指す字(若干黒化)あり	2mm白	1/2	52
前37	直立埴輪	大谷山14号墳	口径14.9, 高さ4.3, 天井部縁部凹状, 縁部あり, 外周に赤色顔料あり, (TK43)	内外 横ハケ, 外周 黒化ハケあり, 内周 指す字(若干黒化)あり	2mm白	1/2	52
前38	直立埴輪	大谷山14号墳	口径14.9, 高さ4.3, 天井部縁部凹状, 縁部あり, 外周に赤色顔料あり, (TK43)	内外 横ハケ, 外周 黒化ハケあり, 内周 指す字(若干黒化)あり	2mm白	1/2	52
前39	直立埴輪	大谷山14号墳	口径14.9, 高さ4.3, 天井部縁部凹状, 縁部あり, 外周に赤色顔料あり, (TK43)	内外 横ハケ, 外周 黒化ハケあり, 内周 指す字(若干黒化)あり	2mm白	1/2	52
前40	土師器小形壺	大谷山14号墳	口径10.6, 高さ13.0, 縁部若干黒化, 内面一部黒化	外周 横ハケ, 断面外周 横ハケ, 断面内周 横ハケ, 内面 赤	2mm白-赤少	1/2	45
前41	鏡刀	大谷山17号墳	保存状態良好, 目付穴2, 縁部			ほぼ完全	183
前42	鏡刀	大谷山17号墳	保存状態良好, 目付穴1, 内面黒化中心赤, 新しい割れあり, 残存率20%			寛跡	180
前43	鏡刀	大谷山17号墳	柄部に木質残存, 縁部断面に遺文方向の斜め状痕跡, 切先先端中央欠損, 縁部長さ34.0			ほぼ完全	125
前44	鏡刀	大谷山17号墳	柄部一部木質残存, 長さ29.9, 縁部			ほぼ完全	121
前45	鏡刀	大谷山17号墳	保存状態良好, 縁部一部欠損, 目付穴2, 縁部長さ35.5, 縁部			ほぼ完全	181
前46	鏡刀	大谷山17号墳	保存状態良好, 切先黒化一部欠損, 目付穴1, 残存率約5%, 縁部			ほぼ完全	182
前47	直立埴輪	大谷山17号墳	半円形断面(直径4.8x高さ), 長さ11.1			ほぼ完全	172
前48	直立埴輪	大谷山17号墳	長形断面, 縁部凹状, 断面に赤色			4/5	57
前49	直立埴輪	大谷山17号墳	長形断面, 縁部凹状, 断面に赤色			4/5	58
前50	直立埴輪	大谷山17号墳	長形断面, 縁部凹状, 断面に赤色			4/5	53
前51	直立埴輪	大谷山17号墳	長形断面, 縁部凹状, 断面に赤色			寛跡	84
前52	直立埴輪	大谷山17号墳	長形断面, 縁部凹状, 断面に赤色			9/10	59
前53	直立埴輪	大谷山17号墳	長形断面, 縁部凹状, 断面に赤色			9/10	60
前54	直立埴輪	大谷山17号墳	長形断面, 縁部凹状, 断面に赤色			9/10	62
前55	直立埴輪	大谷山17号墳	長形断面, 縁部凹状, 断面に赤色			9/10	79
前56	直立埴輪	大谷山17号墳	長形断面, 縁部凹状, 断面に赤色			9/10	78
前57	鏡刀か	大谷山17号墳	先端部黒化, 先端部若干黒化中心赤, 断面に木質, 他の長縁部に比べ中心部不明瞭で本態不明			ほぼ完全	85
前58	直立埴輪	大谷山17号墳	長形断面, 縁部凹状, 断面に赤色			ほぼ完全	83
前59	直立埴輪	大谷山17号墳	長形断面, 縁部凹状, 断面に赤色			ほぼ完全	80
前60	直立埴輪	大谷山17号墳	長形断面, 縁部凹状, 断面に赤色			ほぼ完全	86
前61	直立埴輪	大谷山17号墳	長形断面, 縁部凹状, 断面に赤色			ほぼ完全	95
前62	直立埴輪	大谷山17号墳	長形断面, 縁部凹状, 断面に赤色			ほぼ完全	92
前63	直立埴輪	大谷山17号墳	長形断面, 縁部凹状, 断面に赤色			ほぼ完全	84
前64	直立埴輪	大谷山17号墳	半円形断面, 縁部一部欠損, 中央部若干赤(断面の赤丸)			9/10	116

大谷山・大日山古墳群出土遺物観察表

065	家形埴輪	大谷山17号墳	家形埴輪の基部、胴6に比べて直線的なので平部か?、胴6(6)?と胴7(7)一致か。色黒。7.5YR7/4褐色	外周: 横ハケ(8~7cm)、内周: 不明瞭、少部、寸方	5mmφ・白多い、2mm厚や中多い、2mm最少	-	163
066	家形埴輪	大谷山17号墳	家形埴輪の基部、寸方寸法はあり?、胴6に比べて若干突出する?の要素か?。胴6(6)?と胴7(7)一致か。色黒。7.0YR7/4褐色	外周: 横ハケ(8~7cm)、内周: 不明瞭、少部、寸方	5mmφ・白多い、2mm厚や中多い、2mm最少	-	154-162
067	家形埴輪	大谷山17号墳	家形埴輪の基部、胴6(6)-6(6)と同一形状か、色黒。7.5YR7/4褐色	外周: 横ハケ(8~7cm)、内周: 不明瞭	5mmφ・白多い、2mm厚や中多い、2mm最少	-	163
068	家形埴輪	大谷山17号墳	家形埴輪の基部、胴6(6)-6(6)と同一形状か、色黒。7.5YR7/4褐色	外周: 横ハケ(8~7cm)、内周: 不明瞭	5mmφ・白多い、2mm厚や中多い、2mm最少	-	162
069	円筒埴輪	大谷山17号墳	色黒。5YR5/4明赤褐色(断面10YR2/2灰黄褐色)	外周: 横ハケ(11~12cm)、少部、貼付痕あり寸方不明、内周: 寸方不明	1mm以下少、2mm厚や中多い、1mm以下最少	-	161
070	円筒埴輪	大谷山17号墳	色黒。7.5YR7/4黄褐色	外周: 横ハケ(8~9cm)一部縦ハケ残存?、少部、貼付痕あり寸方不明?上下と厚が異なる。寸方不明、筒径不明	1mm以下少、2mm厚や中多い、1mm以下最少	-	160
071	鉄剣	大谷山17号墳	内面を中心に木質残存			3/4	116
072	鉄剣	大谷山17号墳	刃部は埋没済み、木質残存			3/4	154
073	鉄剣	大谷山17号墳	基部から30cm程度、刃部は埋没済み、内面に木質残存			3/4	161-162
074	鉄剣	大谷山17号墳	内面を中心に木質残存			3/4	154
075	鉄剣	大谷山17号墳	内面・外面に木質残存			3/4	154
076	鉄剣	大谷山17号墳	内面を中心に木質残存			3/10	100
077	鉄剣	大谷山17号墳	内面を中心に木質残存			定刻	159
078	辻巻具	大谷山16号墳	鉄地金銅製、径2.0、高さ1。一部金質残存			ほぼ定刻	124
079	鉄製銅金具	大谷山16号墳	金が腐食されている。3.2×1.1、高さ1			ほぼ定刻	157
080	鉄製銅金具	大谷山16号墳	黒色一部鉄地に木質残存、1.8×1.4、高さ0.8			ほぼ定刻	41
081	鉄製銅金具	大谷山16号墳	黒色一部鉄地に木質残存、径0.9、高さ2			定刻	126
082	鉄製銅金具	大谷山16号墳	径1.3、高さ1			定刻	126
083	鉄製銅金具	大谷山16号墳	1.7×1.5、高さ0.8			ほぼ定刻	132
084	辻巻具	大谷山16号墳	鉄地金銅製、径2.2、高さ1。一部金質残存、裏面に別の鉄材付着か			ほぼ定刻	125
085	銅口金具	大谷山16号墳	鉄地金銅製、一部金質残存、径4つ(裏にも金質あり)、裏面は金質のみ。径0.2、高さ2			定刻	41
086	鉄地金銅製金具	大谷山16号墳	金が一部残存、径1.7(断面に金質あり)			-	32
087	鉄刀刀子	大谷山16号墳	鉄のみ			1/3	133
088	鉄剣	大谷山16号墳	刃部のみ、長残存			1/3	133
089	鉄刀	大谷山16号墳	基部欠落、木質残存(基部の向き不明)、鉄部は刃部のみ			1/3	130
090	円筒埴輪	大谷山16号墳	透孔あり、色黒。5YR5/4明赤褐色(断面7.5YR7/4褐色)	外周: 横ハケ(4~5cm)、少部、貼付痕あり寸方不明、粘土はみだしあり、内周: 寸方不明	1mm以下最少	-	36
091	横巻銅輪	大谷山16号墳	銅製、方向不明、寸法2.2、高さ2	内径: 横寸方	5mm厚・白や中多い、1mm最少	-	30-31・33-135
092	横巻銅輪	大谷山16号墳	銅製、基部寸方不明、断面に鉄片付着			定刻	125
093	横刀	大谷山16号墳	西向き?、平部は残存、土平部は欠落?、鉄部は刃部のみ	寸方不明			157
094	横刀	大谷山16号墳	木質残存(下半部一部残存あり、上半部欠落?)、鉄部は刃部のみ			2/2	123
095	巻帯具	大谷山16号墳	丸3つ、4.4×3.8、裏面は金銅製			定刻	178
096	金環	大谷山16号墳	径2.3、金銅製に残存、裏面は金銅製			定刻	179
097	方丈型小玉	大谷山16号墳	3.1×0.5×0.2、高さ0.3、裏面は金銅製			定刻	43
098	横巻銅輪	大谷山16号墳	銅製、内周に石片付着、基部に内周に粘着残存、色黒。2.5YR/3Cに黄褐色	基部: 貼付痕あり、外周: 寸方不明(一部欠落?)、内周: 寸方不明	1mm以下最少、1mm以下中多い、1mm以下中多い	-	32
099	鉄刀刀子	大谷山16号墳	基部一部欠落、透孔径1.8、幅0.4、基部木質残存、基部的に刃部あり			ほぼ定刻	121
100	鉄刀刀子	大谷山16号墳	保存状態の結果、裏面を2000gお掃除平部直径古墳群遺跡10-30の目録の1番(16号)と2号(4号)、再調査。裏面も木質の跡に木質付着、目録11参照、高さ0.4			定刻	159
101	鉄刀刀子	大谷山16号墳	保存状態の結果、裏面を2000gお掃除平部直径古墳群遺跡10-30の目録の1番(16号)と2号(4号)、再調査。裏面も木質の跡に木質付着、目録11参照、高さ0.4			定刻	159
102	鉄剣	大谷山16号墳	保存状態の結果、裏面を2000gお掃除平部直径古墳群遺跡10-42が2つ(別冊)と4号、図の2番を再調査、中央に鉄穴(1.2×1.2)があり基部は、10.8×3.8×厚0.4			定刻	159
103	不明瞭製品	大谷山16号墳	保存状態の結果、裏面を2000gお掃除平部直径古墳群遺跡10-42が2つ(別冊)と4号、図の2番を再調査、中央の鉄穴は断面に2mmか?で鉄製の跡、目録物とされる。10.8×3.8×厚0.4			定刻	159
104	鉄剣	大谷山16号墳	保存状態の結果、裏面を2000gお掃除平部直径古墳群遺跡10-41、8.3×2.7			定刻	159
105	鉄剣	大谷山16号墳	保存状態の結果、裏面を2000gお掃除平部直径古墳群遺跡10-43の鉄のみ寸法が裏面を2号(4号)と4号(4号)再調査			定刻	159

大谷山古墳群出土遺物台帳

登録番号	大谷山○号墳	ラベル記入事項	日付	遺物内訳	備考	図版遺物
1	12号墳	径1号墳	平成7年2/21	埴輪1(番号)、須置輪1(番号)		
2	12号墳	径1号墳		埴輪14		図1(2)円筒埴輪
3	13号墳	径2号墳	平成7年2/22	埴輪3、須置輪2(鉢巻・鉢巻)		図3(須置輪鉢巻)
4	13号墳	径2号墳	平成7年3/1	須置輪2(鉢1・鉢1)、土師器2(皿)		図5(土師器鉢)
5	13号墳	径2号墳	平成7年3/8	須置輪1(鉢巻)		図5(須置輪鉢巻)
6	13号墳	径2号墳	平成7年3/8	土師器1(蓋)	骨輪9と接合	図4(土師器蓋)
7	13号墳	径2号墳	平成7年3/8	鉄製品1(不明)		図7(不明鉄製品)
8	13号墳	径2号墳	平成7年3/8	埴輪2、土師器6(皿類)、鉄片2		
9	13号墳	径2号墳	平成7年3/12		骨輪9と接合 黄銅製巻帯銅製	
177	13号墳	径3号墳(東向き)横巻銅輪石上?		土師器1(小形蓋)		図6(土師器小形蓋)
10	14号墳	径3号墳	平成7年3/7	須置輪3(高杯類)、黄銅片2		図3(須置輪高杯)
11	14号墳	径3号墳	平成7年3/7	須置輪1(巻置)		図3(須置輪巻置)
12	14号墳	径3号墳	平成7年3/7	須置輪1(鉢巻)		図30(須置輪鉢巻)
13	14号墳	径3号墳	平成7年3/7	須置輪2(鉢巻)		図26(須置輪鉢巻)
14	14号墳	径3号墳	平成7年3/7	須置輪5(巻置輪2、鉢2、小蓋)および土師器1(蓋)、土師器2		
15	14号墳	径3号墳、3/6-7-8-9-14	平成7年3/13	須置輪1(大形鉢巻)		図33(須置輪大形鉢巻)
16	14号墳	径3号墳、3/6-7-8-9-13	平成7年3/14	須置輪1(大形鉢巻)		図32(須置輪大形鉢巻)
17	14号墳	径3号墳		須置輪1(鉢巻)		図28(須置輪鉢巻)
127	14号墳	径3号墳、北西コナ	平成7年3/7	鉄剣1		図18(鉄剣)
130	14号墳	径3号墳	平成7年3/13	鉄刀か1		図17(鉄刀)
144	14号墳	径3号墳	平成7年3/2	埴輪13(形数含む)		図20-図19(埴輪埴輪)
145	14号墳	径3号墳		埴輪5		
146	14号墳	径3号墳	平成7年3/2	須置輪1(蓋)、土師器1、埴輪22		

大谷山古墳群出土遺物台帳

147	14号墳	仮3号墳		平成7年4/13	埴輪17(形象倉七)		図22(埴形or室形埴輪)
148	14号墳	仮3号墳、瓦道			倉庫148と同一		
149	14号墳	仮3号墳		平成7年3/17	形象埴輪1(埴形)		図21(埴形埴輪)
150	14号墳	仮3号墳		平成7年2/29	埴輪2		
151	14号墳	仮3号墳		平成7年2/20	埴輪2、須恵器1(甕)		
152	14号墳	仮3号墳			形象埴輪2(埴形埴輪か)、須恵器1(甕)		図23・図24(埴形埴輪か)
153	14号墳	土室?			木鳥型土玉1	実録報告記述	
44	14号墳?	石室内、船冪6・7・8・9(3/6・7・8・9か)		平成7年3/9	須恵器1(短頸壺)		図38(須恵器短頸壺)
45	14号墳?	船冪7・8・9(3/7・8・9か)		平成7年3/6	土師器1(小倉)		図40(土師器小倉)
46	14号墳?	石室中央部、船冪7・8・9・13・14(3/7・8・9・13・14か)		平成7年3/6	須恵器1(杯蓋)		図29(須恵器杯蓋)
47	14号墳?	石室中央部、船冪7・8(3/7・8か)		平成7年3/6	須恵器1(杯身)		図25(須恵器杯身)
48	14号墳?	石室中央部、下船冪7・9・14(3/7・9・14か)		平成7年3/6	須恵器1(杯身)		図34(須恵器杯身)
50	14号墳?	石室中央部、下船冪8(3/8か)		平成7年3/6	須恵器1(小形杯身)		図36(須恵器小形杯身)
51	14号墳?	尾道入口?		平成7年3/6	須恵器1(杯蓋)		図25(須恵器杯蓋)
52	14号墳?	石室中央部、3/7・13・14		平成7年3/6	須恵器1(杯蓋)		図21(須恵器杯蓋)
53	14号墳?	2か中央部、下、6・7・14			須恵器1(杯蓋)		図27(須恵器杯蓋)
18	15号墳	仮4号墳		平成7年3/2	埴輪7		
19	15号墳	仮4号墳		平成7年3/6	土師器6(方口埴輪か)		
20	15号墳	仮4号墳		平成7年3/6	埴輪6		
21	15号墳	仮4号墳		平成7年3/13	須恵器1(杯蓋)		図8(須恵器杯)
164	15号墳	仮4号墳		平成7年2/24	埴輪26(形象倉七)、土師器2、須恵器3(杯蓋、同一體体)	須恵器杯蓋録172と接合	図8(須恵器杯)
165	15号墳	仮4号墳		平成7年3/8	埴輪22(朝顔形・埴形埴輪倉七)	円筒埴輪倉録172と接合 朝顔形倉録170と接合	図14(埴形埴輪) 図15・16(円筒埴輪) 図10(朝顔形埴輪)
166	15号墳	仮4号墳		平成7年2/23	埴輪40		
167	15号墳	仮4号墳			埴輪17		
168	15号墳	仮4号墳 瓦道			埴輪65(埴形埴輪1)、須恵器1(甕)		図9(円筒埴輪) 図14(埴形埴輪)
169	15号墳	仮4号墳		平成7年2/21	埴輪10		
170	15号墳	仮4号墳		平成7年3/7	埴輪73(形象倉七、埴形・人物?)、須恵器1(甕)	朝顔形倉録165と接合	図12・図13(埴形埴輪) 図10(朝顔形埴輪)
171	15号墳	仮4号墳		平成7年2/27	埴輪24		図11(円筒埴輪)
172	15号墳	仮4号墳		平成7年2/20	埴輪10、須恵器3(甕2・杯1)	須恵器杯蓋録164と接合 円筒埴輪倉録165と接合	図8(須恵器杯) 図15(円筒埴輪)
173	15号墳	仮4号墳		平成7年2/22	埴輪5、土師器1		
30	16号墳	仮7号墳		平成7年2/21	須恵器2(甕1、蓋?1)、須恵器or陶器1、土師器1		図91(須恵器甕台)
31	16号墳	仮7号墳、瓦道		平成7年2/21	須恵器1、土師器4		図91(須恵器甕台)
32	16号墳	仮7号墳		平成7年2/24	須恵器1、須恵器or陶器1、木片1、鉄製丸刀1、鹿角刀2、金銅鍍金具1		図86(金銅鍍金具)
33	16号墳	仮7号墳、石室		平成7年2/27	(須恵器短頸壺5)	倉録30と同一品	図91(須恵器甕台)
34	16号墳	仮7号墳、床		平成7年2/28	埴輪片蓋のみ		
35	16号墳	仮7号墳		平成7年3/1	土師器9、須恵器1(杯)		
36	16号墳	仮7号墳		平成7年3/2	埴輪1、須恵器1、土師器9		図90(円筒埴輪)
37	16号墳	仮7号墳		平成7年3/7	土師器or卑土土師3		
38	16号墳	仮7号墳		平成7年3/8	土師器2		
39	16号墳	仮7号墳		平成7年3/13	須恵器11(倉形口埴)		
40	16号墳	仮7号墳		平成7年3/14	土師器13、須恵器1(方口埴)		
41	16号墳	仮7号墳		平成7年2/20?	金銅鍍丸口金具1、鉄製鍍金具1		図85(丸口金具)・図90(鍍金具)
42	16号墳	仮7号墳			土師器1、須恵器or陶器1		
124	16号墳	仮7号墳		平成7年2/22	金銅鍍辻金具1		図78(辻金具)
125	16号墳	仮7号墳		平成7年2/21	金銅鍍辻金具1		図84(辻金具)
126	16号墳	仮7号墳		平成7年2/21	鉄製鍍金具1		図82(鍍金具)
128	16号墳	仮7号墳			鉄製鍍金具1		図81(鍍金具)
132	16号墳	仮7号墳		平成7年2/22	鉄製鍍金具1		図83・図78(鍍金具)
133	16号墳	仮7号墳			刀子1、鉄製1		図87(刀子)・図88(鉄製)
135	16号墳	仮7号墳		平成7年2/20	須恵器甕台1、裝飾付須恵器の裝飾物、鉄片1、土師器1、陶器1		図92(裝飾付須恵器甕台) 図91(須恵器甕台)
136	16号墳	仮7号墳		平成7年2/20	土師器1、陶器1、結晶片岩		
137	16号墳	仮7号墳		平成7年2/21	鉄製2~4 須恵器片1		
138	16号墳	仮7号墳			鉄製2、鉄製7、刀子1、鉄製2		図89(鉄釘)
140	16号墳	仮7号墳		平成7年2/27	鉄釘か		
141	16号墳	仮7号墳		平成7年2/27	現代の複製物		
142	16号墳	仮7号墳		平成7年2/21	現代の複製物		
153	16号墳	仮7号墳、土室			鉄片1、土師器1		
49	16号墳?	仮7号墳			須恵器1(鉄製・力牛目)		
54	17号墳	取上げF11			鉄製1		図56(鉄釘)
55	17号墳	取上げF12			鉄製か1	万那欠履	
56	17号墳	取上げF13			鉄製1		図61(鉄釘)
57	17号墳	取上げF14			鉄製1		図48(鉄釘)
58	17号墳	取上げF15			鉄製1		図48(鉄釘)
59	17号墳	取上げF16			鉄製1	万那欠履	
60	17号墳	取上げF17			鉄製か1	万那欠履	
61	17号墳	取上げF18			鉄製1	万那欠履	
62	17号墳	取上げF19			鉄製1		
63	17号墳	取上げF20			鉄製1+(1)		図54(鉄釘)
64	17号墳	取上げF21			鉄製1		図50(鉄釘)
65	17号墳	取上げF22			鉄製1		図53(鉄釘)
66	17号墳	取上げF23			鉄製1		図60(鉄釘)
67	17号墳	取上げF24			鉄製2	2本付瓦	
68	17号墳	取上げF25			鉄製か1	万那欠履	
69	17号墳	取上げF26			鉄製1		図53(鉄釘)
70	17号墳	取上げF27			鉄製1		図54(鉄釘)

大谷山古墳群出土遺物台帳

71	17号墳	取り上げ28		鉄線か1	刀部のみ
72	17号墳	取り上げ29		鉄線か1	刀部欠損
73	17号墳	取り上げ30		鉄線か1	刀部あり
74	17号墳	取り上げ31		鉄線1	刀部欠損
75	17号墳	取り上げ32		鉄線1	刀部欠損
76	17号墳	取り上げ33		鉄線1	刀部欠損
77	17号墳	取り上げ34		鉄線か1	刀・基部欠損
78	17号墳	取り上げ35		鉄線1	刀部欠損
79	17号墳	取り上げ36		鉄線1	
80	17号墳	取り上げ37		鉄線1	図55(鉄線)
81	17号墳	取り上げ38		鉄線1	刀部
82	17号墳	取り上げ39		鉄線2か	刀部欠損
83	17号墳	取り上げ40		鉄線1	刀部欠損
84	17号墳	取り上げ41		鉄線1	刀部欠損
85	17号墳	取り上げ42		鉄線1	
86	17号墳	取り上げ43		鉄線1	基部欠損
87	17号墳	取り上げ44		鉄線1	
88	17号墳	取り上げ45		鉄線2	2本付着
89	17号墳	取り上げ46		鉄線1	刀部欠損
90	17号墳	取り上げ47		鉄線1	
91	17号墳	取り上げ48		鉄線1	刀部欠損
92	17号墳	取り上げ49		鉄線1	
93	17号墳	取り上げ50		鉄線1	図52(鉄線)
94	17号墳	取り上げ51		鉄線1	図58(鉄線)
95	17号墳	取り上げ51		鉄線1	図51(鉄線)
96	17号墳	仮6号墳	平成7年2/20	鉄線か1	刀部・基部欠損
97	17号墳	仮6号墳W、取り上げ9	平成7年3/14	鉄線か1	骨針58と同ーか
98	17号墳	仮6号墳	平成7年2/24	鉄線1	
99	17号墳	仮6号墳W、取り上げ7	平成7年3/14	鉄線?orやりがんご	骨針96と同ーか
100	17号墳	仮6号墳W	平成7年3/1	鉄線1	図73(鉄線)
101	17号墳	仮6号墳W、取り上げ5	平成7年3/14	鉄線か1	図57(鉄線か)
102	17号墳	ラベルなし		鉄線1	刀部欠損
103	17号墳	ラベルなし		鉄線か1	
104	17号墳	ラベルなし		鉄線1	
105	17号墳	ラベルなし		鉄線か1	刀部欠損
106	17号墳	ラベルなし		鉄線か1	刀部欠損
107	17号墳	ラベルなし		鉄線か1	刀部・基部欠損
108	17号墳	ラベルなし		鉄線?1	刀部・基部欠損
109	17号墳	ラベルなし		鉄線?1	刀部・基部欠損
110	17号墳	ラベルなし		鉄線1	基部欠損
111	17号墳	ラベルなし		鉄線1	
112	17号墳	ラベルなし		鉄線2	2本付着
113	17号墳	ラベルなし		鉄線か1	刀部欠損
114	17号墳	ラベルなし		鉄線2以上	
115	17号墳	仮6号墳W	平成7年2/24	鉄線4、土師器片3	西瀬石室?
116	17号墳	仮6号墳W	平成7年2/28	鉄線4以上、鉄線1	図64(鉄線)、図71(鉄線)
117	17号墳	仮6号墳W	平成7年3/1	鉄線1~2	図57(鉄線か)
118	17号墳	図あり(石室奥壁東側か)	平成7年2/24	鉄線2以上	
119	17号墳	仮6号墳W、N部、銅	平成7年3/1	鉄線4以上、土師器1	
120	17号墳	仮6号墳W、取り上げ1	平成7年3/14	銅剣1・鉄線1	図43(鉄線剣)、図74(鉄線)
121	17号墳	仮6号墳W	平成7年3/1	鉄小刀1	図44(鉄小刀)
122	17号墳	仮6号墳W、取り上げ9	平成7年3/14	U字形銅先1	図47(銅先)
129	17号墳	仮6号墳W、9~1石間	平成7年3/2	鉄線1	図77(鉄線)
134	17号墳	仮6号墳W、N部	平成7年2/28	鉄線1、鉄線4以上	図75(鉄線)
143	17号墳	仮6号墳W	平成7年2/28	鉄線5以上、土師器5	
154	17号墳	仮6号墳W	平成7年2/20	銅象1(家形埴輪)	図12(家形埴輪)
155	17号墳	仮6号墳	平成7年3/3	埴輪2	
156	17号墳	仮6号墳	平成7年3/6	埴輪or土師器3(家形埴輪?1含む)	
157	17号墳	仮6号墳	平成7年2/23	埴輪1、土師器3	
158	17号墳	仮6号墳	平成7年2/21	埴輪1(家形埴輪?1含む)、土師器1	
159	17号墳	仮6号墳		埴輪or土師器1	
160	17号墳	仮6号墳		埴輪0(家形埴輪2)、須恵器1(壺)	東瀬石室?
161	17号墳	仮6号墳W	平成7年3/1	埴輪21(家形埴輪1)	図70(円黒埴輪)
162	17号墳	仮6号墳W	平成7年2/28	埴輪10(銅象含む、家形埴輪?)	図69(円黒埴輪)
163	17号墳	仮6号墳W	平成7年2/24	埴輪12(銅象含む、家形埴輪?)	図66、図68(家形埴輪)
181	17号墳?	ラベルなし		鉄線12(銅象含む、家形埴輪?)	図65、図67(家形埴輪)
182	17号墳?	ラベルなし		鉄線1	骨針154と同ー骨体あり
183	17号墳?	ラベルなし		鉄小刀1	保存処理済み、基部欠損
184	17号墳?	ラベルなし		鉄線1	保存処理済み、切先欠損
185	17号墳?	ラベルなし		鉄線1	保存処理済み、基部欠損
22	38号墳	仮5号墳	平成7年2/20	土師器2、須恵器1(圓形糸切部)	図45(鉄線)
23	38号墳	仮5号墳	平成7年2/23	土師器4	図46(鉄小刀)
24	38号墳	仮5号墳	平成7年2/27	銅剣(高倉神寶3、木の種4	図77(鉄線)
25	38号墳	仮5号墳	平成7年2/27	土師器8、埴輪4	図42(鉄針)
26	38号墳	仮5号墳	平成7年3/1	土師器33、鏡片1	図68(須恵埴輪)
27	38号墳	仮5号墳	平成7年3/2	土師器4(弥生土器?含む)	
28	38号墳	仮5号墳	平成7年3/6	土師器3(弥生土器?1、埴輪?2含む)	
29	38号墳	仮5号墳		埴輪1、須恵器1(杯?)	
123	38号墳	仮5号墳	平成7年2/27	鉄釘2、鉄板1、鉄線2	
139	38号墳	仮5号墳	平成7年2/23	鉄釘1~2、鉄線1	図83、図94(鉄釘)
178	38号墳	玄室前道?		帯金具1	東瀬石室奥淵
179	38号墳	玄室しきり石上?		倉庫1	東瀬石室奥淵
43	38号墳?	仮5号墳?	平成7年3/7	ガラス製小玉1	図95(帯金具)
131		ラベルなし		刀子1	図96(倉庫)
174		ラベルなし		埴輪21、須恵器1(壺)	図97(ガラス製小玉)
175		ラベルなし		埴輪23、須恵器2(壺)、土師器2	図99(刀子)
176		湯浅第1層	平成7年3/9	埴輪1	14・15・17号墳のどれか
					14・15・17号墳のどれか
					14・15・17号墳のどれか

和歌山県埋蔵文化財調査年報

—平成14年度—

発行日 平成16年3月31日
編集・発行 和歌山県教育委員会
和歌山市小松原通1丁目1
印刷 (株)第一製版印刷
和歌山市西浜1660-421